



Photo by Érick Labbé

COVER PHOTO

Ex Machina / Robert Lepage

「887」

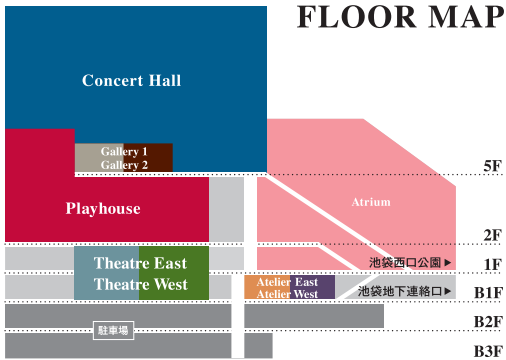
英語上演・日本語字幕付

6月23日(木)～26日(日)
プレイハウス

作・演出・美術・出演：ロベール・ルパージュ

東京 芸術 劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre



1F 東京芸術劇場ボックスオフィス

(チケット・総合案内カウンター)

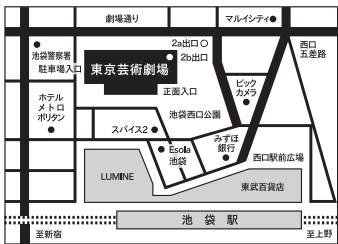
5F 託児サービス だっこルーム

東京芸術劇場でご鑑賞のお客様の
お子様をお預かりします。(要予約)

お問合せ | **03-3981-7003**
(平日10:00～17:00)

B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場

利用料金 | 300円/30分
営業時間 | 7:00～24:00
お問合せ | **03-6914-0019**



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
| 開館時間 | 9:00～22:00 (休館日を除く)
| お問合せ | **03-5391-2111**
JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より
徒歩2分、池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

芸劇 BUZZ vol.15

2016年 4・5・6月号

《編集・発行》東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 《編集・デザイン》COM Works 《印刷》(株)技芸堂

平成28年3月25日発行

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.15 2016

4.5.6.



◆特集・PICKUP

2016年度音楽シーズン・プログラム

海外オーケストラシリーズ
指揮 ダニエル・ハーディング
パリ管弦楽団

NHK交響楽団・読売日本交響楽団・東京都交響楽団
芸劇で日本のオーケストラを聴こう

ロベール・ルパージュ「887」

芸劇eyes eyes plus 芸劇dance ほか

ハイバイ／モダンスイマーズ／

ロロ／木ノ下歌舞伎／

中野茂樹＋フランケンス／

Co.山田うん／東芋×森下真樹／

カンパニーデラシネラ

第11回まちかど回遊美術館／
大道芸／池袋学

東京芸術劇場の取り組み
鑑賞サポート
舞台技術セミナー

◆CALENDAR

4月・5月・6月

鼎談 東京芸術劇場 芸術監督 野田秀樹 × ハイバイ 岩井秀人 × 森山未来

※東京芸術劇場では、パートナー協賛の申し込みを随時受け付けております。詳細は、公式HPをご覧ください。広報営業係担当まで直接お問合せください。 Tel. 03-5391-2117

2016年3月1日現在 (五十音順)

アサヒグループホールディングス株式会社	オルガノ株式会社	東京臨海熱供給株式会社	株式会社 松村電機製作所
住友生命保険相互会社	キヤノン株式会社	東武鉄道株式会社	丸茂電機株式会社
西池袋熱供給 株式会社	香山壽夫建築研究所	常磐興業株式会社	三菱重工業株式会社
Bloomberg L.P.	国際興業株式会社	凸版印刷三幸会	株式会社三菱東京UFJ銀行
	三精テクノロジー株式会社	日本生命保険相互会社	ミュージックスタジオ・フォルテ
株式会社資生堂	サントリーホールディングス株式会社	日本テレビ放送網株式会社	ヤマハサウンドシステム株式会社
大和証券株式会社	株式会社ジェイアール東日本ビルディング	日本電信電話株式会社	養老乃瀧株式会社
	JXホールディングス株式会社	日本郵船株式会社	読売新聞東京本社
キッコーマン株式会社	西武鉄道株式会社	びあ株式会社	立教大学
住友化学株式会社	ソニー銀行株式会社	東日本旅客鉄道株式会社 池袋駅	株式会社ルミネ 池袋店
トヨタ自動車株式会社	第一生命保険株式会社	フジテック株式会社	レンゴ株式会社
明光義塾	学校法人多摩美術大学	株式会社 フジテレビジョン	株式会社ローソンHMVエンタテイメント
	株式会社帝国ホテル	HOTEL URBAN(ホテルアーバン)	株式会社 WOWOW
株式会社イープラス	株式会社TBSテレビ	ホテルメトロポリタン	渡邊建設株式会社
ANAホールディングス株式会社	株式会社テレビ朝日	株式会社マクロスジャパン	
株式会社エレベータシステムズ	東京地下鉄株式会社	株式会社 松田平田設計	他匿名4社
株式会社奥村組			

CONCERT HALL 2016 LINE UP これを聴け! 2016年度の音楽公演を展望する

オーケストラ、オペラから室内楽、オルガン・コンサートまで、 今シーズンも趣向を凝らした企画がずらりと並ぶ。まさに百花繚乱の趣。

パリとベルリンから名門楽団が来日!

年間ラインナップをじっくりと眺め、これから足を運ぶコンサートを検討し、カレンダーに予定を書き込む。音楽ファンにとって、期待感が最大限に高まる至福の瞬間だ。今シーズンの公演から、聴きどころを展望してみよう。

まずはオーケストラから。「海外オーケストラシリーズ」として、ヨーロッパのふたつの名門楽団が招かれる。新たに音楽監督に就任する俊オダニエル・ハーディングがパリ管弦楽団とともに来日し、マーラーの交響曲第5番他を演奏する。斬新なマーラー解釈を聴かせるハーディングと、欧州屈指の名門との組合せが興味をそそる。ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団は名匠インバルの指揮のもと、マーラーの交響曲第1番「巨人」他を演奏する。インバルにとってマーラーは自家薬籠中のレパートリー。客席は大いに沸きあがるこ

とだろう。五嶋龍との共演も楽しみだ。

日本を代表するオーケストラ、NHK交響楽団は首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィとともに登場。没後20周年を迎えた武満徹作品とムソルグスキー(ラヴェル編)の組曲「展覧会の絵」他を組み合わせる。パーヴォ・ヤルヴィといえ、パリ管弦楽団でダニエル・ハーディングの前任を務めた世界的名指揮者。N響との共演では、毎回きわめて高水準の演奏を実現し、大きな話題を呼んでいる。ラヴェルの色彩的なオーケストレーションを精緻かつ鮮烈に再現するにちがいない。

有田正広指揮クラシカル・プレイヤーズ東京は、作曲当時の楽器と奏法を用いるオーケストラ。ベートーヴェンやモーツァルトで、作品が生まれた当時の響きを明らかにする。驚きと発見が待っている。

2016-17 東京芸術劇場・音楽事業シーズン・プログラム

コンサートホール

ORCHESTRA

東京芸術劇場 Presents クラシカル・プレイヤーズ東京演奏会
各回 S席4,000円 A席3,000円 B席2,000円

7月1日(金) 19:00開演

指揮:有田正広 ピアノ:仲道郁代
管弦楽:クラシカル・プレイヤーズ東京
モーツァルト/ 交響曲第32番
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第4番
モーツァルト/ 交響曲第40番

チケット発売中

2017年3月5日(日) 15:00開演

指揮:有田正広 管弦楽:クラシカル・プレイヤーズ東京 ほか

世界のマエストロシリーズvol.4
読売日本交響楽団
10月29日(土) 管弦楽:読売日本交響楽団



N響JAZZ at 芸劇

8月17日(水) 19:00開演

指揮:ジョン・アクセルロッド ピアノ:山中千尋
管弦楽:NHK交響楽団

〜オール・ガーシュウィン・プログラム〜

ガーシュウィン/キューバ序曲
交響的絵画「ボーギーとベス」
「アイ・ガット・リズム」変奏曲
ラブソディ・イン・ブルー

S席7,000円 S席6,200円 A席5,400円
B席4,600円 C席3,800円 D席3,000円

発売日:4月16日(土)

2公演セット券(8月17日 N響JAZZ at 芸劇、9月17日 パーヴォ・ヤルヴィ&N響) 発売日:4月9日(土)
S席12,000円 S席10,560円 A席9,120円 ※東京芸術劇場ボックスオフィス(電話・WEB)のみ取扱い。

OPERA

東京芸術劇場コンサートオペラvol.4

モーツァルト/歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』全曲

※演奏会形式

12月11日(日) 15:00開演予定

指揮:ジョナサン・ノット 管弦楽:東京交響楽団
舞台監修:サー・トーマス・アレン 合唱:新国立劇場合唱団
ドン・アルフォンソ:サー・トーマス・アレン
フィオルディリージ:ミア・パーソン ドラベッラ:マイテ・ボーモン
デスビーナ:ヴァレンティナ・ファルカス フェルランド:ショーン・マゼイ
グリエルモ:マルクス・ウェルバ ほか 発売日:6月17日(金)



東京芸術劇場シアターオペラvol.10

ブッチーニ/歌劇『蝶々夫人』

(全国共同制作*金沢・大阪・高崎)

2017年2月18日(土)/19日(日)

14:00開演予定

指揮:ミヒャエル・バルク 演出:笈田ヨシ
管弦楽:読売日本交響楽団(*東京公演)
蝶々さん:中嶋彰子、小川里美(ダブルキャスト・出演日未定)
スズキ:鳥木弥生 ほか



2016-2017 海外オーケストラシリーズ
11月25日(金) 19:00開演
パリ管弦楽団

指揮:ダニエル・ハーディング
ヴァイオリン:ジョシュア・ベル
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲
マーラー/交響曲第5番



S席26,000円 A席20,000円 B席16,000円
C席11,000円 D席7,000円 SS席31,000円
発売日:4月24日(日)

2017年3月21日(火) 19:00開演

ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

指揮:エリアフ・インバル
ヴァイオリン:五嶋 龍
マーラー/交響曲第1番「巨人」ほか



© Ayako Yamamoto

WIND ORCHESTRA

東京芸術劇場 Presents ブラスウィーク2016

9月22日(木・祝) 14:00開演

東京佼成ウインドオーケストラ 指揮:大井剛史

9月30日(金) 19:00開演

東京吹奏楽団 指揮:小林恵子

11月1日(火) 19:00開演

ブラック・ダイク・ブラス・バンド 指揮:ニック・チャイルズ

10月2日(日) 12:45開演

バンドクリニック『中・高生のための楽しい吹奏楽』

芸劇ウインド・オーケストラ

第3回演奏会

2017年2月25日(土)

指揮:鈴木優人

吹奏楽:芸劇ウインド・オーケストラ
【全席自由】2,000円



コンサートホールでオペラを楽しむ

東京芸術劇場シアターオペラvol.10では、ブッチーニの歌劇『蝶々夫人』が上演される。長崎を舞台に蝶々さんの悲運を描くこのオペラは、日本人にとって「泣けるオペラ」の筆頭に挙げられるだろう。このジャポニズムの名作を、世界で活躍する笈田ヨシがどう演出するか。

東京芸術劇場コンサートオペラvol.4は、モーツァルトの歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」をとりあげる。こちらは演奏会形式での上演。アンサンブルの妙が肝となる作品だけに、ここでの主役は指揮のジョナサン・ノットかもしれない。音楽監督ジョナサン・ノットと東京交響楽団のコビは現在絶好調。昨年、音楽監督の任期を2026年まで延長したという蜜月ぶりである。大ベテラン、トーマス・アレンによるドン・アルフォンソ役も頼もしい。

若手からベテランまで多彩な才能が集う

東京芸術劇場は、若者たちの飛躍の場でもある。将来を嘱望される若手奏者たちが集った芸劇ウインド・オーケストラが、第3回演奏会を開催す

る。指揮は鈴木優人。吹奏楽のレパートリーを拡大するようなチャレンジを期待したい。

また、今年も音楽大学フェスティバル・オーケストラが、首都圏9音大などからの選抜メンバーで結成される。練達のプロの演奏とは一味違った音楽の喜びがここにある。

その他の公演では、日本を代表するピアニスト清水和音と気鋭の演奏家たちが共演する「芸劇ランチ・コンサート」が目をひく。平日朝11時開演、名曲中心のプログラム。なんとも優雅だ。

また、芸劇が誇るパイプオルガンもぜひ聴いておきたいところ。モダンと古典、ふたつの外観を持ち、古い時代の音楽にも新しい時代の音楽にも対応できるという稀有な楽器である。エドガー・クラップのオルガン・リサイタルでは、モダンと古典の両面で、パッサの名作から没後100年のレーガーの作品まで、ドイツオルガンの名曲をたっぷり堪能できる。

選りすぐりの好企画がそろった2016年度の音楽シーズン。心に深く刻まれる名演奏との出会いが待っている。

文:飯尾洋一(音楽ジャーナリスト)

最新情報は東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp をご確認ください

ORGAN

パイプオルガンコンサートVol.21
エドガー・クラップ オルガン・リサイタル

10月25日(火) 19:00開演

オルガン:エドガー・クラップ

J.S.バッハ/前奏曲とフーガ 二長調 BWV532
トリオ・ソナタ 第5番 八長調 BWV529
パッサカリア 八短調 BWV582

レーガー/パッサ八名によるファンタジーとフーガ Op.46 ほか

【全席指定】一般3,000円 ペア券5,000円 25歳以下2,000円
※ペア券と25歳以下チケットは前売販売のみ取扱い。
※25歳以下チケットは東京芸術劇場ボックスオフィスのみの取扱い。
(公演当日チケット引換時要証明書提示)

発売日:4月27日(水)



ランチタイム・パイプオルガンコンサート
各回/12:15開演 ※12:45終演予定 【全席自由】500円

Vol.117|7月19日(火) オルガン:ジョン・ウォルトハウゼン
Vol.118|11月17日(木)
Vol.119|2017年3月16日(木)

ナイトタイム・パイプオルガンコンサート

各回/19:30開演 ※20:30終演予定 【全席指定】1,000円

Vol.14|4月21日(木) オルガン:宇山=ブヴァール 康子
Vol.15|8月3日(水)
Vol.16|12月20日(火)
Vol.17|2017年2月9日(木)

FESTIVAL

東京芸術劇場&ミュゼザ川崎シンフォニーホール共同企画 第7回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル2016

各日15:00開演 【全席指定】1回券1,000円 通し券3,000円(限定200セット) 発売日:7月9日(土)

11月20日(日) @東京芸術劇場 コンサートホール

上野学園大学&東京芸術大学&武蔵野音楽大学

11月23日(水・祝) @ミュゼザ川崎シンフォニーホール

昭和音楽大学&桐朋学園大学

第6回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ

2017年3月25日(土) 15:00開演

ミュゼザ川崎シンフォニーホール

2017年3月26日(日) 15:00開演

東京芸術劇場 コンサートホール

管弦楽:音楽大学フェスティバル・オーケストラ
(首都圏9音楽大学選抜オーケストラ)

S席2,000円 A席1,500円

発売日:11月5日(土)

FAMILY

芸劇&読書

0才から聴こう!! 春休みコンサート

2017年3月29日(水)2回公演 ※1回目、2回目、共に同プログラム。

ソリスト:東京音楽コンクール入賞者 管弦楽:読売日本交響楽団

S席3,500円 A席2,500円

こども(3才以上小学生まで)1,000円 ※S席・A席共通

※0歳から入場可。2歳児までで保護者の膝上の場合は無料。

(保護者1名につきこども1名まで)座席を必要とする場合は、全て有料。

芸劇提携事業

第43回日本オルガニスト協会新人演奏会

5月2日(月) 18:00開演

オルガン:棚瀬栄織(武蔵野音楽大学)/
澤 菜摘(洗足学園音楽大学)/田宮 亮(東京藝術大学)
ゲスト:小林英之(東京芸術劇場オルガニスト)
マチュー・ガルニエ(ガルニエ・オルガン)

【全席自由】1,500円 チケット発売中

主催:日本オルガニスト協会

前橋汀子 デイライト・コンサート 主催:KAJIMOTO

11月9日(水) 11:30開演

パリ管弦楽団

11月24日(木) 19:00開演

指揮:ダニエル・ハーディング ヴァイオリン:ジョシュア・ベル
ブリテン/オペラ「ピーター・グライムズ」から4つの海の間奏曲
ブラームス/ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77
ベルリオーズ/劇的交響曲「ロメオとジュリエット」op.17 から(抜粋)

S席26,000円 A席22,000円 B席18,000円 C席13,000円
D席9,000円 プラチナ券31,000円 発売日:4月24日(日)

主催:KAJIMOTO

ザ・フィルハーモニクス 主催:ジャパン・アーツ

12月9日(金) 19:00開演

芸劇ランチ・コンサート

4月20日(水)、6月22日(水)、8月24日(水)、

10月19日(水)、12月21日(水)、2017年2月22日(水)

各日/11:00開演

ピアノ:清水和音

ナビゲーター:八塩圭子 ほか

【全席指定】2,200円(1公演につき、税込)

主催:毎日新聞社、MIYAZAWA & Co.

東京芸術劇場 〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
【アクセス】JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線「池袋駅」
西口徒歩2分(池袋駅地下2b出口と直結)

※未就学児の入場はお断りいたします。(3/29公演を除く) ※やむを得ぬ理由により出演者、曲目、発売日変更の可能性ありますのでご了承ください。

お問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296 (休館日を除く10~19時)

PC・携帯 <http://www.geigeki.jp/t/>

2016-2017 海外オーケストラシリーズ

パリ管弦楽団

指揮:ダニエル・ハーディング
ヴァイオリン:ジョシュア・ベル

ハーディングとパリ管 —— 期待の新コンビ

パリ管弦楽団と、今秋その首席指揮者に就任する
俊才ダニエル・ハーディングとの組み合わせを、
ここ日本で、しかも生演奏で聴けるのは、
今回が初めてになる。
当今、これほど興味を惹くコンビは、
他に例を見ないかもしれない

パリ管弦楽団といえば、言わずと知れたフランス第一の名門オーケストラである。1964年、前身のパリ音楽院管弦楽団時代にクリュイタンスと初来日、夢のように美しい演奏を聴かせたことを、年輩のファンは覚えているだろう。パリ管弦楽団として改組されてからは1970年にプレートル及びボードと初来日、1980年にはバレンボイムに率いられ再来日し、それ以降もいろいろな指揮者と、たびたび来日している。最近の来日は一昨年、パーヴォ・ヤルヴィ(2016年夏まで首席指揮者)との帯同だった。

歴代のシェフのうち、初代のミュンシュを除いてはフランス人が1人もいないという不思議なオーケストラだが、にもかかわらず、フランスのオケならではの「音」を、常に維持している楽団でもある。これが、フランスのDNAというもののなだろう。

そのサウンドは豪壮華麗で、スケールが大きい。しかもきらきらと輝き、洗練されて気品のある、洒落た音色を備えている。良いオーケストラというものは、演奏前のチューニングからして音が素晴らしい。聴き手は、演奏前からその音色に魅了されてしまう。

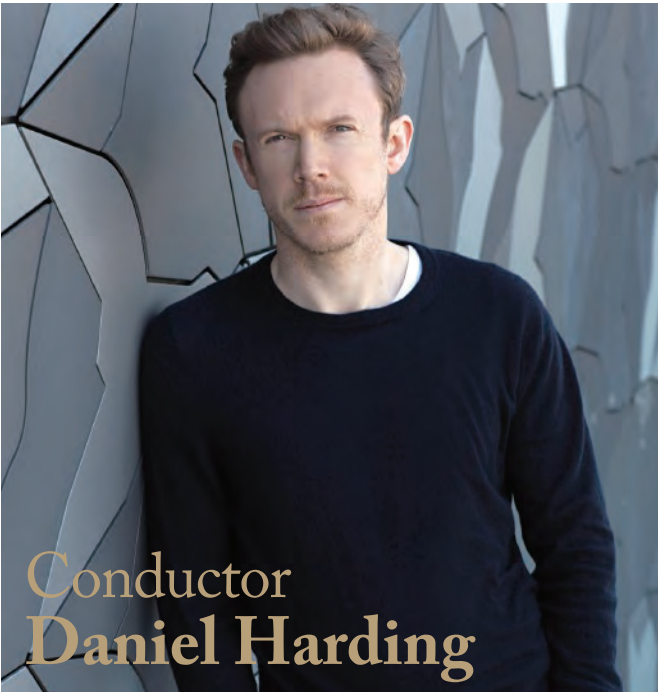


©Bill Phelps

11月24日(木) 19:00開演 コンサートホール

指揮:ダニエル・ハーディング ヴァイオリン:ジョシュア・ベル
ブリテン/オペラ『ピーター・グライムズ』から 4つの海の間奏曲
ブラームス/ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77
ベルリオーズ/劇的交響曲『ロメオとジュリエット』op.17から(抜粋)
【全席】S席 26,000円 A席 22,000円 B席 18,000円
【指定】C席 13,000円 D席 9,000円 プラチナ券 31,000円

主催:KAJIMOTO 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



©Julian Hargreaves

その名門オケが、新しい個性派首席指揮者により、どのように変貌するか。これが、最大の聴きどころだ。

ダニエル・ハーディングは、この夏まで新日本フィルの「MUSIC PARTNER of NJP」として、新日本フィルの事実上のシェフを務めていたこととはご承知であろう。あの東日本大震災の当日には、新日本フィルの定期演奏会への客演のために東京にいて、集まった少数の聴衆の前で指揮をした。そして、その6月にマーラー・チェンバー・オーケストラとともに来日した時には、休憩時間や終演後にロビーに出て来て、自ら募金箱をかかえ、救援活動に協力していたのである。ロビーでは聴衆が彼を囲み、またステージに彼が登場した時には、客席全体が拍手とブラヴォーを贈ったことも、記憶に新しい。

彼は、マーラー・チェンバー・オーケストラを指揮する時には、気心知れた仲間として、また小編成の楽団ということもあって、スコアの指定をしのぐ激しい表情の変化に富んだ、刺激的な音楽をつくる。他方、ウィーン・フィル、ベルリン・フィルなど大編成のオケを指揮する時は、さすがにそれほど奇抜奔放な指揮はしない。しかし、3年前にサイトウ・キネン・オーケストラを指揮した時には、このオケの全能力を引き出す壮烈でダイナミックな演奏をつくり出したことがある。

成長著しいハーディングだが、今回はつわもの揃いのパリ管が相手だ。ましてや就任直後とあれば、それほどの「冒険」(?)はやらないだろう。だが、なにかスリリングなことが起こりそうな気配も感じられる。

ちなみに彼は、アメリカのタングルウッドのアカデミーで、ボストン響音楽監督時代の小澤征爾に学んだことがある。小澤の言うところによれば、相当やんちゃな生徒だったそうである。そういえば、ハーディングの指揮には、今でもそういう、何をするか分からないような、「恐るべき子供」的な雰囲気がありはしないか?

文:東条碩夫(音楽評論)

11月25日(金) 19:00開演 コンサートホール

指揮:ダニエル・ハーディング ヴァイオリン:ジョシュア・ベル
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲
マーラー/交響曲第5番

【全席】S席 26,000円 A席 20,000円 B席 16,000円
【指定】C席 11,000円 D席 7,000円 SS席 31,000円

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

4月24日(日)発売

芸劇で日本のオーケストラを聴こう

NHK交響楽団・読売日本交響楽団・東京都交響楽団

東京のオーケストラに 新時代到来!

ファンの声援も熱いN響、読響、都響が芸劇で
新たなプログラムをスタートさせる。

ここへきてファンの声援も熱いNHK交響楽団、読売日本交響楽団、それに東京都交響楽団と、パフォーミング・アーツの殿堂である東京芸術劇場の「交歓」が近づいてきた。かねてから芸劇を拠点のひとつとしてきた読響と都響に加え、パーヴォ・ヤルヴィの首席指揮者就任も喜ばしい話題のN響も、ここ池袋の愛すべきコンサートホールで創造の翼を広げることになった。若手世代の台頭も著しい昨今のオーケストラは、ほんとうに上手い。オーケストラ・デビューを考えている皆さん、ようこそ。ジャズやコンテンポラリーを愛する皆さん、ようこそ。まずは創立90周年を祝っているN響のチャレンジをご紹介します。その名もN響JAZZ at 芸劇。

ガーシュウインのナンバーは申すに及ばず、ユーモア満載のアンダーソン、オ人バーンスタイン、それにジョン・ウィリアムズの映画音楽は、もう何年も前からオーケストラの大切なレパートリーになっている。古き良き時代のジャズやミュージカル、映画、それにゲームの音楽とシンフォニー・オーケストラは、実は相愛だ。アメリカばかりでなく、20世紀初頭のバリやベルリンの作曲家もジャズのテイストを愛でた。ビッグバンド風の名作だってある。ただし演奏が上手いくのは、トップアーティスト、つまり役者が揃った場合に限られる。さてN響は何を奏でる? やはりガーシュウインの粋な調べが選ばれた。

革新的なプログラミングでオーケストラと聴き手を高みに導く今どきのマエストロ、ジョン・アクセルロッドの出演に拍手を。シンフォニーとオペラの両

N響JAZZ at 芸劇	パーヴォ・ヤルヴィ&NHK交響楽団
8月17日(水) 19:00開演 コンサートホール 指揮:ジョン・アクセルロッド ピアノ:山中千尋 管弦楽:NHK交響楽団 〜オール・ガーシュウイン・プログラム〜 ガーシュウイン/キューバ序曲 交響的絵画『ボーギーとベス』 『アイ・ガット・リズム』変奏曲 ラプソディ・イン・ブルー 1回券 【全席指定】SS席7,000円 S席6,200円 A席5,400円 B席4,600円 C席3,800円 D席3,000円 発売日:4月16日(土)	9月17日(土) 14:00開演 コンサートホール 指揮:パーヴォ・ヤルヴィ 管弦楽:NHK交響楽団 ムソルグスキー/交響詩『はげ山の一夜』(1867/原典版) 武満 徹/ア・ウェイ・ア・ローンII、ハウ・スロー・ザ・ウィンド ムソルグスキー(R.コルサコフ編曲)/歌劇『ボヴァンシチナ』より 第4幕第2場への間奏曲『ゴリツィン公の流刑』 ムソルグスキー(ラヴェル編曲)/組曲『展覧会の絵』 1回券 【全席指定】SS席8,000円 S席7,000円 A席6,000円 B席5,000円 C席4,000円 D席3,000円 発売日:4月16日(土)
2公演セット券(8/17 N響JAZZ at 芸劇、9/17 パーヴォ・ヤルヴィ&N響) SS席12,000円 S席10,560円 A席9,120円 発売日:4月9日(土) ※東京芸術劇場ボックスオフィス(電話・WEB)のみ取扱い。	

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

読売日本交響楽団 土曜・日曜マチネーシリーズ 2016(各10公演)			4月~6月の公演 詳細はP10、P12、P14へ
第186回 4月23日(土)・24日(日)14:00開演 指揮:山田和樹 ピアノ:小山実稚恵 グリーグ/ピアノ協奏曲 チャイコフスキー/交響曲第6番「悲愴」ほか	第187回 5月28日(土)・29日(日)14:00開演 指揮:キリル・カラビツ ヴァイオリン:ヴィクトリア・ムローヴァ シベリウス/ヴァイオリン協奏曲 プロコフィエフ/バレエ音楽「ロミオとジュリエット」から ほか	第188回 6月18日(土)・19日(日)14:00開演 指揮:シルヴァン・カンブルラン ピアノ:ハヴィエル・ペリアネス ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番「皇帝」 ストラヴィンスキー/バレエ組曲「火の鳥」(1919年版) ほか	
1回券(各回共通) S席7,500円 A席5,500円 ほか	お申込み 1回券は芸劇ボックスオフィスまたは読響チケットセンターにて取扱い		
※年間会員券(2シリーズ共通、各10公演)については、読響チケットセンターまでお問い合わせください。 読響チケットWEB/ http://yomikyo.pia.jp/ 読響チケットセンター/0570-00-4390(10-18時・年中無休)			
主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 事業提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)			

東京都交響楽団 2016年度 定期演奏会Cシリーズ(全8公演)			4月~6月の公演 詳細はP10、P14へ
第806回 4月30日(土) 14:00開演 小泉和裕 都響デビュー40周年記念 指揮:小泉和裕 ピアノ:ミシェル・ダルベルト ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第4番 ブラームス/交響曲第1番 S席6,500円 A席5,500円 ほか	第811回 6月15日(水) 14:00開演 指揮:大野和士 ピアノ:小山実稚恵 サン＝サーンス/ピアノ協奏曲第5番「エジプト風」 リムスキー＝コルサコフ/交響組曲『シェヘラザード』ほか S席5,500円 A席4,500円 ほか	お申込み 1回券は芸劇ボックスオフィスまたは都響ガイドにて取扱い ※定期C会員券(全8公演)及び各種割引については、都響ガイドまでお問い合わせください。 都響WEBチケット/https://yyk1.ka-ruku.com/tmsot 都響ガイド/03-3822-0727(月~金10:00-18:00)	残席僅少
主催:東京都交響楽団			

ROBERT LEPAGE

エディンバラ国際フェスティバル、パリ市立劇場
などで上演され話題沸騰の新作、日本初演!

887

ルパージュ自ら語る少年時代の記憶と演劇について

オペラからシルク・ドゥ・ソレイユまで。独自の美意識とビジュアルセンスで世界を席巻する
世界的演出家、ロベール・ルパージュの本邦初演作は、自ら演じる衝撃の自分史だ。

ルパージュ・マジックとは

ロベール・ルパージュは、コンパクトなひとり芝居から、10時間におよぶ超大作、オペラ、シルク・ドゥ・ソレイユにいたるまで、あらゆる規模とジャンルの舞台芸術を手がけて、世界中を驚嘆させ続けているアーティストだ。

たとえば昨秋日本でも上演されたリニューアル版『Needles and Opium 針とアヘン』は、ニューヨークに滞在中のフランスの詩人コクトーと、パリで恋人と別れたアメリカのトランペット奏者マイルス・デイヴィスという、同時代の2人の才人の胸中に、カナダのケベックからパリにやってきた俳優が、失恋を引きずるわが身を重ねるという作品。時代と場所が絶えず転換し、彼らの脳内も、ドラッグや妄想でつねにトリップする。ルパージュは、キューブ型



昨年10月に世田谷パブリックシアターにて上演された、「Needles and Opium 針とアヘン
～マイルス・デイヴィスとジャン・コクトーの幻影～」舞台写真

の装置を回転させ、プロジェクション(映像)を多用することで、壁を床へ、床を窓へ、パリをニューヨークへ、ホテルの一室を宇宙空間へ……と観客の眼前で次々に変幻させてゆく。観客はそのメタモルフォーゼ(変容)に目を奪われながら、コクトーとマイルスという天才の孤独を、等身大のケベックの俳優の傷みを通じて、リアルに体感することとなる。この不思議体験をもたらす独創的な仕掛けを、人は「ルパージュ・マジック」と呼ぶ。

影絵やだまし絵のような子どもの遊び風の素朴な趣向でほっこりさせたり、最先端の映像技術を取り入れた、大掛かりな舞台機構を稼働させたりと、さまざまなタイプの視覚効果を駆使する「ルパージュ・マジック」。言葉よりも視覚に訴えるこうした彼の表現スタイルの原点は、どこにあるのだろう。

ルパージュの初来日は1993年。シェイクスピア三部作(『マクベス』『コリオレーナス』『テンバスト』)と、先述の『Needles and Opium 針とアヘン』の初演版を引っさげての登場だったが、その際の公演資料(パナソニック・グローブ座発行)に、こんな記述がある。ルパージュがカナダの演劇学校在学中の16歳の時に、初めて舞台上立った際の感想を、自ら語ったものだ。「僕はステージで、実は僕はシャイではなかったと気付いた。しゃべることがどこちなければジェスチャーですればいいし、それで足りなかったら、まわりの空間や明かりや小道具を使えばいいと思った」

初舞台にして、この気づき。独自の舞台空間のとらえ方は、天性の資質によるものなのだということが、よくわかる。ちなみにこの演劇学校時代、ルパージュは日本の伝統演劇を専門に学んでいたそうで、初めて日本を訪れた際は、2週間、毎日昼夜歌舞伎座に通いつめたという逸話も残っている。ビジュアルにこだわり、身体表現に重点を置き、見物を喜ばせるエンターテインメ

ントに徹する歌舞伎の精神と技術が、ルパージュのクリエイティビティに多大な影響を与えていることは間違いない。

さらに、こうした志向の大前提にあると考えられるのが、彼が生まれ育った社会環境だ。ルパージュは、カナダのケベック州ケベック・シティーの出身。圧倒的な英米語圏である北アメリカで暮らす、少数派のフレンチ・カナディアンだ。英語とフランス語がともに公用語で、英仏併記が法律で定められている国とはいえ、四方を英米語圏に包囲される中で、フランス語とその文化を貫くのが、ケベック人魂。周囲との言葉の壁は少なからず存在し、特に、通常は言葉の比重が大きい演劇活動を行うにあたっては、フランス語に依存していると、国内でも一部の観客にしか伝わらないという事態を招いてしまう。そこで必然的に、せりふよりもドラマの内部にフォーカスし、言葉以外の方法で内容を表現するスタイル「ルパージュ・マジック」が育まれていった。'95年に広島を舞台にした大作『HIROSHIMA—太田川七つの流れ』で来日した際のインタビューで、ルパージュ自身がそう明言していた。ケベックとルパージュ。作品にも必ずといっていいほど「ケベック人」を登場させるルパージュにとって、それは自分の分身以上の、重要な意味を内包する存在らしい。

ケベックとルパージュ

そのことに敢えて焦点を当てたのが、昨年世界初演されたばかりのひとり芝居『887』だ。タイトルの数字は、ルパージュが子供時代に家族と住んでいたケベック・シティーの番地、887 Murray Avenueのこと。ある詩の会での朗唱の依頼を受けた現在のルパージュ(本人)が、詩を暗唱するために、言葉を自分の好きな場所に当てはめて覚える、という記憶術を試みる。そこで久しぶりに思い出したのが、裕福とは言えなかった子供時代のアパート生活のこと。タクシー運転手の父と、母や兄弟との狭い部屋での日々に、認知症になった祖母を、引き取るか否かの問題が浮上して……という非常にパーソナ

6月23日(木)～26日(日) プレイハウス(英語上演・日本語字幕付)
作・演出・美術・出演:ロベール・ルパージュ

ルな家族の記憶と、'60～'70年代にケベックを覆っていた英語圏の住民によるフランス語圏の住民支配や差別と、フランス語圏住民による主権奪還の激しい闘争の歴史、といった社会情勢が、折り重なるように描かれてゆく。

887 Murray Avenueという場所について語りながらルパージュが舞台に持ち出すのは、3メートルほどの高さがあるビルの模型。彼が家族と住んでいたアパートを正確な縮尺で再現したかのような形態のもので、よく見ると、ミニチュアの各戸のベランダ越しに、奥で暮らす人々の様子が、妙にリアルな映像で映し出されている。例によって、最新鋭のプロジェクション・マッピング技術を取り入れたルパージュ・マジックの始まりだ。そうかと思うと、内視鏡カメラをビル模型の中に入れ、ドールハウスのように小さな家具が設えられた部屋をのぞき見し、プラスチックの人形や、シンプルな影絵で家族を表したりする。素朴な手作り感も健在だ。

ミクロと等身大、家庭と社会、過去と現在を自在に往き来しながら記憶をたどり、家族と交わした会話から自身のセクシュアリティのありように至るまで、これ以上ないほど、赤裸々な自分史を開陳してしまうルパージュ。もちろん、語られるすべてを事実と思いこむのは、観る側の勝手ではある。が、幼少時のさまざまな経験と、生まれ育ったケベックが背負ってきた理不尽な屈辱の歴史。それがこの天才アーティストのバックボーンにあるという事実を、客観的な事象を並べつつ、直球で突きつけてくる姿勢に、胸を打たれずにはいられない。来年で60歳になるこの天才アーティストが、なぜ今、ここまで来し方を振り返るのか。年齢と記憶。記憶と演劇。演劇と家族。家族と国家。その胸に去来するものを想像すると、熱いものがこみ上げてくる。

ルパージュ・マジックにより、これまでひとり芝居だけでも、いくつものユニークな作品が創作され、その多くが日本でも上演されてきたけれど、多忙を極めるルパージュ本人が日本の舞台上に立つのは、なんと10年ぶりのことになる。それだけ作者にとっても特別な意味を伴う新作。見損なったら、きっと後悔する。

文:伊達なつめ(演劇ジャーナリスト)

芸劇chにてスポット映像公開中!
(<http://www.geigeki.jp/ch/ch1/t120.html>)

4月16日(土)発売

ハイバイ「おとこたち」

4月4日(月)～17日(日) シアターイースト

詳細はP9へ



撮影:鬼野若菜

四者四様の盛衰と死期から伝わるリアリティ

2014年に上演し、チケット完売につき観られなかった人が続出したという人気作が早くも再演。職業もライフスタイルも異なる4人の「おとこたち」の盛衰と死期を描いており、岩井秀人による綿密な取材が活かされたリアリティ溢れる物語に仕上がっている。劇団は話題の新作『夫婦』を上演したばかりで、多方面から注目される存在だ。

文:園田喬し(演劇ライター／『BITE』編集長)

作・演出:岩井秀人

出演:安藤 聖／菅原永二／永井若葉／平原テツ／用松 亮／松井 周

主催:有限会社quinada/ハイバイ
提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

モダンスイマーズ「嗚呼いま、だから愛。」

4月22日(金)～5月3日(火・祝) シアターイースト

詳細はP10へ



撮影:金子裕美

身近な“戦争”に潜む愛を描いた意欲作

骨太な戯曲に定評のある劇作家・蓬萊竜太が作・演出を務めるモダンスイマーズの新作は夫婦間ディスコミュニケーションを描いた愛憎劇。1LDKのマンションに渦巻く負の連鎖は、現代の日本人にとって最も身近な“戦争”のひとつなのかもしれない。結末に浮かび上がる愛の形に、蓬萊の想いや祈りを感じられる一作になるだろう。

文:園田喬し(演劇ライター／『BITE』編集長)

作・演出:蓬萊竜太

出演:川上友里(はえぎわ)／古山憲太郎 津村知与支 小椋 毅 生越千晴

西條義将(以上モダンスイマーズ)／太田緑ロランス／奥貫 薫

主催:モダンスイマーズ
提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

eyes plus 口口「あなたがいなかった頃の物語と、いなくなってから物語」

5月20日(金)～29日(日) シアターイースト

詳細はP12へ



若さと成熟のベストタイミング

2011年の芸劇eyes番外編『20年安泰。』以来の登場となる口口。その間、劇団も個々のメンバーも順調に活躍しているが、とりわけ作・演出の三浦直之はこの1～2年で急成長、今年の岸田國士戯曲賞の最終ノミネートに選出された『ハンサムな大悟』(上演は昨年)だけでなく、優れた作品を次々と発表している。入口は甘酸っぱいラブストーリー、出口は深淵な哲学という世界観は、新作でも発揮されるだろう。

文:徳永京子

脚本・演出:三浦直之

出演:板橋駿谷／亀島一徳／篠崎大悟／島田桃子／望月綾乃／森本 華(以上口口)／

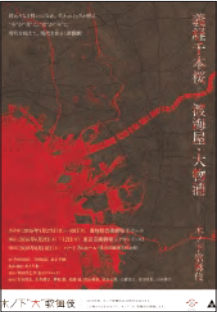
伊東沙保／西田夏奈子／古屋隆太(サンプル／青年団)

主催:口口/さんかくのまど
提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

eyes plus 木ノ下歌舞伎「義経千本桜一渡海屋・大物浦一」

6月2日(木)～12日(日) シアターイースト

詳細はP13へ



撮影:WELLA

考え抜かれた現代感覚で伝える、歌舞伎の魅力

昨年の芸劇eyesで5時間の通し上演を敢行した『三人吉三』が、読売演劇大賞の上半期ベスト5に選出されるなど高い評価を得た木ノ下歌舞伎が、今度はeyes plusの枠で芸劇に帰ってくる。演目は、歌舞伎を構成する「音楽」「舞踊」「芝居」の魅力がバランスよく配分されている『義経千本桜』。その特性を生かすため、2012年には、各場ごとに異なる演出家を配置して上演したが、今回はその第一幕目のみをピックアップ。演出は、戯曲の社会性を俳優の動きに変換できる多田淳之介。

文:徳永京子

作:竹田出雲／三好松洛／並木千柳 補綴・監修:木ノ下裕一 演出:多田淳之介

出演:大石将弘／大川潤子／榊原 毅／佐藤 誠／佐山和泉／武谷公雄／立蔵葉子／

夏目順也／山本雅幸

主催:木ノ下歌舞伎
提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇eyes 中野成樹+フランケンズ「えんげきは今日もドラマをライブする vol.1」

6月18日(土)～26日(日) シアターイースト

詳細はP14へ



撮影:富田了平

2つのプログラムで体感する、2500年分、演劇の旅

もとの戯曲を、あえて誤読、曲解、拡大解釈、縮小化する大胆なアレンジを「誤意識(ごいやく)」と自称し、演劇の自由度を公演ごとに更新しているナカフラ(中野成樹+フランケンズの通称)。その個性が存分に発揮できる新シリーズが芸劇eyesで口火を切る。古今東西の名作戯曲をAプログラムでは3本、Bプログラムでは7～8本に分けて上演。ギリシャ悲劇から21世紀の日本まで、2500年の演劇史を一気に観るチャンス!

文:徳永京子

演出:中野成樹

出演:村上聡一 福田毅 竹田英司 田中佑弥 鈴鹿通儀 洪雄大 石橋志保 小泉まき

斎藤淳子 北川麗／山田宏平 原田つむぎ(東京デスロック)／小林美江 ほか

主催:中野成樹+フランケンズ／一般社団法人なかふら
提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇dance Co.山田うん「Co.山田うん ダンスライブ with 芳垣安洋」

7月1日(金)～3日(日) シアターイースト

詳細はHPへ



群舞のうねりから新たに飛び出すダンスと音楽の競演

一昨年「春の祭典」「七つの大罪」公演が話題を集め、快進撃を続ける今もっともテンションの高い人気ダンスカンパニーが再登場。芳垣安洋を中心とした実力派の音楽家たちによる即興的な音楽と屈指のうねりのような群舞からさらなる跳躍を見せる9名のダンサーが、緊張感漲るセッションを展開する。

文:住吉智恵(アートプロデューサー／ライター)

振付・演出:山田うん

出演:<ダンス>荒悠平／伊藤知奈美／飯森沙百合／川合ロン／木原浩太／小山まさし／城俊彦／西山友貴／山田うん

<音楽>芳垣安洋／高良久美子／太田恵資／助川太郎 ※出演者は日程により異なります。

主催:一般社団法人Co.山田うん
提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

チケット発売5月1日(日)

芸劇dance 束芋×森下真樹 映像芝居「錆からでた実」

7月8日(金)～10日(日) シアターイースト

詳細はHPへ



創作過程より

現代美術家・束芋が濃密な演出を手がける〈映像芝居〉

生年月日、出生地、血液型、三姉妹という共通点をもつふたりが互いの創作を重ねあわせた初演から3年。今回は「身体が映像を纏い、音楽に突き動かされるような体験をつくりたい」という束芋が、その強い想いを自らの演出に投影する。生演奏とダンスが入り乱れる〈映像芝居〉は濃密な情念の色に染められるはずだ。

文:住吉智恵(アートプロデューサー／ライター)

構成・演出:束芋

振付:森下真樹

出演:鈴木美奈子／田中啓介 ほか

主催:映像芝居「錆からでた実」実行委員会
提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

チケット発売4月23日(土)

芸劇dance カンパニーデラシネラ「ロミオとジュリエット」

7月15日(金)～18日(月・祝) シアターイースト

詳細はHPへ



ダンストリエンナーレトーキョー2012より

撮影:WELLA

中世の舞踏会や事件に立ち会える! 観客参加型の舞台

各地で再演を繰り返してきた本作。パントマイム出身の演出家による身体表現とプロダクトデザイナーが手がける動く舞台美術は、物語の中に蠢く身体の可能性を引き出し、舞台と地続きの場で事件に立ち会う観客の想像力を飛躍させる。小学校での上演では「ないものが見えた」と感動を呼んだ名作に再び期待が高まる。

文:住吉智恵(アートプロデューサー／ライター)

原作:ウィリアム・シェイクスピア

翻訳:松岡和子 演出:小野寺修二 美術:石黒 猛

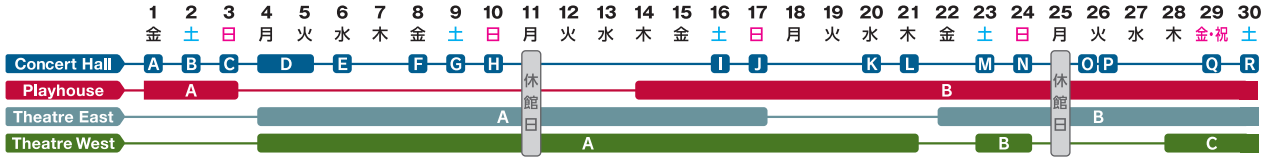
出演:斉藤 悠／崎山莉奈／王下貴司／大庭祐介／藤田桃子／小野寺修二

主催:株式会社デラシネラ
提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

チケット発売6月12日(日)

芸劇dance 3公演セット券発売予定!(枚数限定) 詳細はHPへ

4 APR



Concert Hall 音楽略号：指揮(Cond)／ソプラノ(S)／メソソプラノ(Ms)／アルト(A)／テノール(T)／バリトン(Br)／バス(Bs)／コーラス(Chor)／ピアノ(Pf)／チェンバロ(Cemb)／オルガン(Org)／ヴァイオリン(Vn)／ヴィオラ(Va)／チェロ(Vc)／

A 1日(金) Closed・関係者のみ
平成28年度 東京都職員 入都式

B 2日(土) 14:00開演 BOX
新日本フィル特別演奏会
ドラゴンクエストコンサート

出演 梅田俊明(Cond)／すぎやまこういち(お話)／
新日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 すぎやまこういち／交響組曲「ドラゴンクエストV」天空の花嫁
料金 完売
問合せ 新日本フィル・チケットボックス 03-5610-3815

C 3日(日) 15:00開演 BOX
東京佼成ウインドオーケストラPresents
吹奏楽大作戦2016

出演 大井剛史(Cond)／岩崎里衣(司会)／
東京佼成ウインドオーケストラ
曲目 バーンズ／アルヴァマー序曲
ミッCHEル／大草原の歌
■指揮者コースコーナー
矢部政男／マーチ・エイプリル・メイ
■指揮者コースコーナー
福田洋介／吹奏楽のための「風之舞」
天野正進／ラ・フォルム・ドゥ・ジャク・アムール・シヨンジュ・コム・ル・カレイドスコブ
オスターリング／バンドロジー
福島弘和／百年祭～10人の奏者のための
■体感コースコーナー
スミス／ルイ・ブルジョアの讃美歌による変奏曲
■演奏コースコーナー
酒井 格／たなばた
料金 【全席指定】大人:3,000円／子ども:1,500円／
体感コース付きチケット:4,000円
問合せ 東京佼成ウインドオーケストラ 03-5341-1155

D 4日(月)～5日(火) Closed・関係者のみ
立教大学 入学式

E 6日(水) Closed・関係者のみ
童謡コーラス 名曲大合唱会
2015年度大感謝祭

F 8日(金) Closed・関係者のみ
後藤学園 合同入学式

G 9日(土) 18:00開演
GAME SYMPHONY JAPAN
16th CONCERT
出演 志村健一(Cond)／東京室内管弦楽団／東京混声合唱団／
待山一生／Ryuta／MEINEMEINUNG
曲目 植松伸夫／ファイナルファンタジー7より
なるけみちこ／ワイルドアームズより ほか
料金 S:8,500円／A:7,500円／B:6,500円
問合せ アイムビレッジ info@aim-vil.com

H 10日(日) 14:00開演 BOX
新交響楽団 第233回演奏会

出演 飯守泰次郎(Cond)／安井陽子(S)／池田香織(Ms)／
栗友会合唱団／新交響楽団
曲目 別宮貞雄／管弦楽のための二つの祈り
マーラー／交響曲第2番「復活」
料金 SS:4,000円／S:3,000円／A:2,500円／B:2,000円
問合せ コンサートイマジン 03-3235-3777

I 16日(土) 14:00開演 BOX
青山シンフォニーオーケストラ
第29回定期演奏会

出演 汐澤安彦(Cond)／佐藤卓史(Pf)／
青山シンフォニーオーケストラ
曲目 ブラームス／悲劇的序曲
ベートーヴェン／ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」
シューマン／交響曲第1番「春」
料金 S:2,000円／A:1,500円／B:1,000円／高校生B:800円
問合せ 石田 045-713-3478

J 17日(日) 14:30開演 BOX
3つのオルガンで聴くバッハの世界
～J.S.バッハオルガン作品全曲演奏 完結記念～

出演 椎名雄一郎(Org)
曲目 J.S.バッハ／
トッカータとフーガ ニ短調 BWV565、
トリオ・ソナタ 第3番 ニ短調 BWV527、
幻想曲とフーガ ト短調 BWV542、
パッサカリア ハ短調 BWV582 ほか
料金 【全席指定】一般:3,500円
問合せ アレグロミュージック 03-5216-7131

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)

東京芸術劇場
ボックスオフィス 0570-010-296
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

休館日 | 11日(月)・25日(月)
東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp
※原則未就学児のご入場はお断りしています。

コントラバス(Cb)／ハープ(Hp)／フルート(F)／クラリネット(Cl)／オーボエ(Ob)／ファゴット(Fg)／サクソフォーン(Sax)／ホルン(Hr)／トランペット(Tp)／トロンボーン(Tb)／チューバ(Tub)／ユーフォニアム(Euph)／ティンパニ(Timp)

K 20日(水) 11:00開演 BOX
芸劇 ブランチ・コンサート
～清水和音と八塩圭子の名曲ラウンジ～
第1回「動物の謝肉祭」初回は名曲でメンバー紹介!

出演 大江 馨(Vn/1st)／藤江扶紀(Vn/2nd)／佐々木亮(Va)／
富岡康太郎(Vc)／西山真二(Cb)／竹山 愛(Ft・ピッコロ)／
伊藤 圭(Cl)／清水和音(Pf)／鈴木弘尚(Pf)／
高岡 瑠(打楽器・チェレスタ)／斎藤綾乃(打楽器・チェレスタ)／
八塩圭子(ナビゲーター)
曲目 ドヴォルザーク／ユーモレスク
成田為三／浜辺の歌
サン＝サーンス／「動物の謝肉祭」ほか
料金 【全席指定】2,200円
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

L 21日(木) 19:30開演 BOX
東京芸術劇場ナイトタイム・
パイプオルガンコンサート Vol.14

出演 宇山＝ブヴァール康子(Org)
曲目 A. de カベソン／バヴァーナと変奏
「貴婦人の望み」による変奏曲
カンシオン・グロサ・グ・神が与える時、我は行く(Pファン・ヴィルガー)
「マリアよ、私たちに告げよ。」
「ミラノ風ガリアルダ」による変奏曲
C.ラケ／ファンタジー
W.バード／ヒュー・アシュトンのグラウンド (トリジャンのグラウンド)
M.ロッシ／トッカータ 第7番
S.シャイト／「ああ私はこんなにも傷ついて」によるファンタジア
J.A.ギラン／「第2変法によるマニフィカトより 「前奏曲」、「テノールをティエルスで」
F.クーブラン／「修道院のためのミサ曲」より 「奉献唱」
J.ブヴァール／ブレス地方のノエルによる変奏曲
料金 【全席指定】1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

M 23日(土) 14:00開演 BOX
読売日本交響楽団
第186回土曜マチネーシリーズ

出演 山田和樹(Cond)／小山美稚恵(Pf)／読売日本交響楽団
曲目 オネゲル／バシフィック231
グリーグ／ピアノ協奏曲
チャイコフスキー／交響曲第6番「悲愴」
料金 S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:3,500円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

N 24日(日) 14:00開演 BOX
読売日本交響楽団
第186回日曜マチネーシリーズ

出演 山田和樹(Cond)／小山美稚恵(Pf)／読売日本交響楽団
曲目 オネゲル／バシフィック231
グリーグ／ピアノ協奏曲
チャイコフスキー／交響曲第6番「悲愴」
料金 S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:3,500円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

O 26日(火) Closed・関係者のみ
第46回
生徒と保護者のための芸術鑑賞会

P 26日(火) 19:00開演 BOX
東京交響楽団×ギトリス

出演 ニコライ・ジャジューラ(Cond)／イヴリー・ギトリス(Vn)／
東京交響楽団
曲目 チャイコフスキー／バレエ組曲「くるみ割り人形」
ショーン／詩曲
J.S.バッハ／ヴァイオリン協奏曲第2番
ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」
料金 ギトリスシート:10,500円／S:8,500円／A:7,500円／
B:6,500円
問合せ テンポプリモ 03-5810-7772

Q 29日(金・祝) 14:00開演 BOX
東京佼成ウインドオーケストラ
第128回定期演奏会

出演 川瀬賢太郎(Cond)／宮田 大(Vc)／
東京佼成ウインドオーケストラ
曲目 スウェアリンゲン／狂詩曲／ヴェナ
デ・メイ／カサノヴァ～チェロとウインドオーケストラのための～
R.シュトラウス(大橋晃一編)／歌曲集より
R.シュトラウス(酒井 格編)／歌劇『ばらの騎士』組曲
料金 S:6,000円／A:4,500円／B:3,500円／C:1,000円
問合せ 東京佼成ウインドオーケストラ 03-5341-1155

R 30日(土) 14:00開演 BOX
東京都交響楽団
第806回定期演奏会 Cシリーズ

出演 小泉和裕(Cond)／ミッシェル・ダルトベルト(Pf)／
東京都交響楽団
曲目 ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第4番
ブラームス／交響曲第1番
料金 S:6,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:3,500円／
Ex:2,500円
問合せ 都響ガイド 03-3822-0727

Playhouse

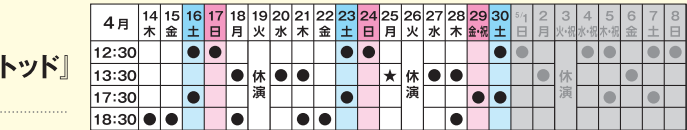
A ～3日(日)

KREVAの新しい音楽劇
「最高はひとつじゃない2016 SAKURA」
作・演出 野村昌史／町田誠也 音楽監督 KREVA
出演 KREVA／内 博貴／増田有華／綿引さやか／AKLO／ブラザートム／Mummy-D(ライムスター)／小西真奈美 ほか
料金 【全席指定】9,500円
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337



B 14日(木)～5月8日(日) BOX

ブロードウェイミュージカル『スウィーニー・トッド』
フリート街の悪魔の理髪師
演出・振付 宮本亜門
出演 市村正親／大竹しのぶ／芳本美代子／田代万里生／唯月ふうか／安崎 求／斉藤 暁／武田真治 ほか
料金 S席13,000円／サイドシート:8,500円／25歳割引:5,000円／高校生割引:1,000円 ※25歳以下、高校生割引は東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い(枚数限定、要証明書)
問合せ ホリプロチケットセンター 03-3490-4949



★＝アフタートークあり

Theatre East

A 4日(月)～17日(日) BOX

ハイバイ「おとこたち」
作・演出 岩井秀人
出演 安藤 聖／菅原永二／永井若葉／平原テツ／用松 亮／松井 周
料金 【全席指定】一般…前売(前半割):3,300円／当日(前半割):3,800円／前売:3,500円／当日:4,000円
学生(前売・当日共):2,500円(受付にて要証明)／高校生以下(前売・当日共):1,000円(前売は東京芸術劇場窓口のみ販売、要証明)
問合せ ハイバイ 080-6562-4520(10:00～20:00)



▲映像収録のため、場内にカメラが設置されます。予めご了承ください。 ○＝前半割

B 22日(金)～5月3日(火・祝) BOX

モダンスイマーズ「嗚呼いま、だから愛。」
作・演出 逢葉竜太
出演 川上友里(はえぎわ)／古山憲太郎 津村知与支 小椋 毅 生越千晴 西條義将(以上モダンスイマーズ)／太田緑ロランス／奥貫 薫
料金 【全席指定】一般:3,000円／高校生割引:1,000円(枚数限定/要証明書/東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売りのみ取扱い)
問合せ 鳩森base 03-5413-4815(平日11:00～18:00)



▲ビデオ撮影のため、場内にカメラが設置されます。予めご了承ください。 ★＝アフタートークあり

Theatre West

A 4日(月)～21日(木) BOX

二人だけの芝居
ークレアとフェリスー
作 テネシー・ウィリアムズ
訳・演出 丹野郁弓
出演 奈良岡朋子／岡本健一
料金 【全席指定】一般:6,300円／学生割引:3,150円／◆夜チケット:4,200円(夜公演全席)
問合せ 劇団民藝 044-987-7711(月～土 10時～18時)／劇団民藝青山事務所 03-3401-5131



★＝バックステージツアー

B 23日(土)～24日(日)

「女系の遺産」
作 ヒューイ・ロックフィールド
演出 伊藤 清
出演 瀬戸口ミサカ／田近希句子 ほか
料金 【全席自由】前売当日:3,000円
問合せ 株式会社サンクアソシエイツ 03-3505-3104



C 28日(木)～5月1日(日) BOX

オオカミは走る
脚本 坂口理子
演出 狹間 鉄
出演 MARU(劇団水色革命主宰)／ジャガー横田／板垣桃子(劇団浅敷童子)／
岡本枚子／世羅りさ／マツダヒロエ／高橋春菜(劇団水色革命) ほか
料金 前売指定:5,300円／前売自由:4,800円／当日指定:5,600円／当日自由:5,100円
問合せ コルバタ 080-3512-4273



6 JUN



Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)ノソプラノ(S)メソソプラノ(Ms)ノアルト(A)ノテノール(T)ノバリトン(Br)ノバス(Bs)ノコーラス(Chor)ノピアノ(Pf)ノチェンバロ(Cemb)ノオルガン(Org)ノヴァイオリン(Vn)ノヴィオラ(Va)ノチェロ(Vc)ノコントラバス(Cb)ノハープ(Hp)ノフルート(F)ノクラリネット(Cl)ノオーボエ(Ob)ノファゴット(Fg)ノサクソフォーン(Sax)ノホルン(Hr)ノトランペット(Tp)ノトロンボーン(Tb)ノチューバ(Tub)ノユーフォニアム(Euph)ノティンパニ(Timp)ノヴォーカル(Vo)

A 3日(金) 19:00開演 無 料

NTT東日本東京吹奏楽団
第49回定期演奏会

出演 山田昌弘(Cond)ノ國末貞仁(Sax)ノNTT東日本東京吹奏楽団
曲目 ウィリアムズノオリンピック・ファンファーレとテーマ伊福部 昭ノバンドのための『ゴジラ』ファンタジー
真島俊夫ノ夢ー岩井直鴻先生の思い出にー天野正道ノファントム・ドゥ・ラムールー幻影ー
料金 【全席指定】入場無料※要発券手数料、事前申込制
問合せ NTT東京福祉文化事業団「ゆいの会」03-6712-8803

B 4日(土) 14:30開演 無 料

陸上自衛隊中央音楽隊
第148回定期演奏会

出演 1等陸佐 武田 晃(Cond)ノ陸上自衛隊中央音楽隊
曲目 ストラヴィンスキー(アールズ編)ノバレエ組曲「火の鳥」ウォルトン(木村吉宏編)ノ映画音楽「お気に召すまま」より
料金 【全席指定】入場無料(要往復ハガキによる事前申込)
問合せ 陸上自衛隊中央音楽隊演奏班 048-460-1711 内線3622

C 5日(日) 14:00開演 BOX

学習院輔仁会音楽部管弦楽団
第55回定期演奏会

出演 家田厚志(Cond)ノ学習院輔仁会音楽部管弦楽団
曲目 エロールノザンパ序曲
ビゼーノカルメン組曲(1, 2より抜粋)ラフマニノフノ交響曲第2番
料金 【全席指定】前売:500円ノ当日:1,000円
問合せ 管弦楽団責任者(竹久) 080-5092-6860

D 6日(月) 18:30開演

THE SOUND OF SHIMAKEN
~66th Anniversary Concert on6.6

出演 島 健(Cond, Pf)ノ井上芳雄、加藤登紀子、島田歌穂、中川晃教(Vo)ノ川井南子(Vn)ノ東京ニューシティ管弦楽団
曲目 島 健ノSUITE FOR PIAZZOLLA
ミッシェル・ルグラン・メドレー
スタンリー・マイヤーズノカヴァティーナ(映画「ディア・ハンター」より)ティヴィス(エヴァンス)ノブルー・イン・グリーン ほか
料金 S:8,000円ノA:6,600円ノB:5,000円
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

E 7日(火) 19:00開演 BOX

ユンディ・リ ピアノリサイタル

出演 ユンディ・リ(Pf)
曲目 <オール・ショパン・プログラム>
ショパンノバラード全曲(全4曲)、
24の前奏曲
料金 SS:15,100円ノS:12,900円ノA:11,800円ノB:9,700円ノC:6,400円ノD:4,300円ノ学生:7,000円
問合せ ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040

F 9日(木) 19:00開演 BOX

ユーリ・バシュメット&モスクワ・ソロイスツ

出演 ユーリ・バシュメット(Cond)ノドミトリー・マスレエフ(P f)ノモスクワ・ソロイスツ
曲目 シューベルト(マラー編)ノ「死と乙女」D810[弦楽合奏版]
J.S.バッハノピアノ協奏曲第1番 BWV1052
チャイコフスキーノアダンテ・カンタービレ(ヴィオラと弦楽のための)フィレンツェの思い出
料金 S:7,500円ノA:6,400円ノB:5,400円ノC:4,300円
問合せ ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040

G 11日(土) 14:00開演 BOX

東京佼成ウインドオーケストラ
第129回定期演奏会

出演 キンボー・イシイ(Cond)ノ岡田昌子(トゥーランドット)ノ城 宏憲(カラフ)ノ石上朋美(リュー)ノジョン・ハオ(ティムール)ノ井上雅人(役人)ノ宮本益光(案内役)
東京音楽大学(合唱)ノ東京佼成ウインドオーケストラ
曲目 ブッチーニ(大橋晃一編)ノ歌劇「トゥーランドット」より抜粋
料金 S:7,000円ノA:5,500円ノB:4,000円ノC:1,000円
問合せ 東京佼成ウインドオーケストラ 03-5341-1155

H 12日(日) 14:00開演

慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ
第218回定期演奏会

出演 藤岡幸夫(Cond)ノ慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ
曲目 ウェーバーノ歌劇『オベロン』序曲
リストノ交響詩「前奏曲」
エルガーノ交響曲第1番
料金 S:2,000円ノA:1,500円ノB:1,000円
問合せ 広報 wagner.s.ticket@gmail.com

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)

東京芸術劇場
ボックスオフィス 0570-010-296

※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

休館日 | 13日(月)・14日(火)
東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

※原則未就学児のご入場はお断りしています。

I 15日(水) 14:00開演 BOX

東京都交響楽団
第811回定期演奏会 Cシリーズ

出演 大野和士(Cond)ノ小山実雅恵(Pf)ノ東京都交響楽団
曲目 モーツァルトノ歌劇「後宮からの誘拐」序曲K.384
サン＝サーンスノピアノ協奏曲第5番「エジプト風」
リムスキー＝コルサコフノ交響組曲『シェヘラザード』
料金 S:5,500円ノA:4,500円ノB:3,500円ノC:2,500円ノEx:1,800円
問合せ 都響ガイド 03-3822-0727

J 18日(土) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団
第188回土曜マチネーシリーズ

出演 シルヴァン・カンブルラン(Cond)ノハヴィエル・ベリアネス(Pf)ノ読売日本交響楽団
曲目 ストラヴィンスキーノ管弦楽のための4つの練習曲
ベートーヴェンノピアノ協奏曲第5番「皇帝」、
バレエ音楽「プロメテウスの創造物」から
ストラヴィンスキーノバレエ組曲「火の鳥」(1919年版)
料金 S:7,500円ノA:5,500円ノB:4,500円ノC:3,500円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

K 19日(日) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団
第188回日曜マチネーシリーズ

出演 シルヴァン・カンブルラン(Cond)ノハヴィエル・ベリアネス(Pf)ノ読売日本交響楽団
曲目 ストラヴィンスキーノ管弦楽のための4つの練習曲
ベートーヴェンノピアノ協奏曲第5番「皇帝」、
バレエ音楽「プロメテウスの創造物」から
ストラヴィンスキーノバレエ組曲「火の鳥」(1919年版)
料金 S:7,500円ノA:5,500円ノB:4,500円ノC:3,500円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

D 23日(木)~26日(日) BOX

ロベール・ルパージュ「887」
(英語上演・日本語字幕)

作・演出・美術・出演 ロベール・ルパージュ
料金 【S席】前売:6,000円ノ当日:6,500円【A席】前売:4,000円ノ当日:4,500円
高校生割引:1,000円ノ25歳以下(A席):3,000円ノ65歳以上(S席):5,000円
※各種割引チケットは東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売りのみ取扱い(入場時要証明書)
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

L 22日(水) 11:00開演 BOX

芸劇 ブランチ・コンサート
~清水和音と八塩圭子の名曲ラウンジ~
第2回 シューベルトの「ます」 今日の主役はコントラバス

出演 大江 馨(Vn)ノ佐々木亮(Va)ノ富岡康太郎(Vc)ノ西山真二(Cb)ノ清水和音(Pf)ノ八塩圭子(ナビゲーター)
曲目 バガニーニノモーゼ幻想曲(コントラバス&ピアノ)
シューベルトノピアノ五重奏曲「ます」
料金 【全席指定】2,200円
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

M 24日(金) 18:30開演 BOX

第3回SPクラシックコンサート
~華麗なる音楽のタベ ミュージック・フェスティバル~

出演 演 一(Cond)ノ松井利世子(Vn)ノ打木真乃(F)ノ岡崎麻奈未(S)ノ横山幸雄(Pf)ノはまくと仲間たちオーケストラ
曲目 グリエールノ祝典序曲、
コロラトゥーラ・ソプラノとオーケストラのための協奏曲
J.シュトラウスノワルツ『春の声』
チャイコフスキーノヴァイオリン協奏曲
モーツァルトノフルート協奏曲第1番
ラフマニノフノピアノ協奏曲第2番
料金 SS:7,000円ノS:6,000円ノA:5,000円ノB:4,000円
問合せ SPプランニング 090-3227-9895

Playhouse

A ~5日(日)

京劇 白蛇伝2016
中国国家京劇院日本公演

出演 付 佳(フーリア)ノ張 兵(ジャン・ピン) ほか
料金 【全席指定】8,800円
問合せ 京劇公演事務局(楽戲舎) 03-5281-8066



B 15日(水) 18:45開演 BOX

第29回 としま能の会

出演 能:能世喜正ノ狂言:野村 萬ノ舞囃子:亀井保雄
料金 【全席指定】S席:3,800円ノA席:3,300円ノS席学生:1,500円ノA席学生:1,000円
問合せ としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

C 18日(土) 18:00開演 無 料

平成28年度都立総合芸術高等学校
舞台表現科成果発表会(第5回定期公演)舞踊専攻
「白鳥の湖」ほか

料金 入場無料(事前申込)
問合せ 東京都立総合芸術高等学校舞台表現科 03-3354-5288



E 29日(水)~7月4日(月)

DANCE LEGEND vol.3
「FLAMECO CAFÉ DEL GATO」

構成・演出・振付 ホセ・パリオス
出演 湖月わたるノ水 夏希ノ緒月遼摩ノ大貫勇輔 ほか
料金 【全席指定】8,800円
問合せ 梅田芸術劇場 0570-077-039



★アフタートークあり

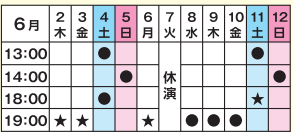
Theatre East

A 2日(木)~12日(日) BOX

eyes plus
木ノ下歌舞伎「義経千本桜 一渡海屋・大物浦一」

作 竹田出雲ノ三好松洛ノ並木千柳
補綴・監修 木ノ下裕一 演出 多田淳之介
出演 大石将弘ノ大川潤子ノ梶原 誠ノ佐山和泉ノ武谷公雄ノ立蔵葉子ノ夏目慎也ノ山本雅幸
料金 【日時指定・入場整理番号付き自由席】前売…一般:3,800円ノU-25:2,800円ノ高校生以下:1,000円 当日…4,000円
問合せ 木ノ下歌舞伎 050-3636-3734

★2日・3日=木ノ下x多田によるアフタートーク
★6日=グストーク
★11日=木ノ下によるアフター講義



B 18日(土)~26日(日) BOX

芸劇eyes
中野成樹+フランケンズ『えんげきは今日もドラマをライブするvol.1』

演出 中野成樹
出演 村上聡一、福田毅、竹田英司、田中佑弥、洪雄大、石橋志保、小泉まき、斎藤淳子、北川麗ノ山田宏平ノ小林美江 ほか
料金 一般:3,800円ノ若者割引(25歳以下/入場時に証明書):2,500円ノセット券(Aプロ+Bプロ):6,500円ノ特別公演(22日14時の回):2,000円(親子2人ペア)※追加¥500/人
問合せ 中野成樹+フランケンズ 03-3972-3631



★=アフタートークあり
※=子供(0歳~未就学児童)と一緒に観れる回ノAプロより1演目上演

Theatre West

A ~5日(日) BOX

丸茂芸能社の落日

作 中島淳彦
料金 【全席指定】前売:4,700円ノ当日:5,000円ノ25歳以下:3,000円
問合せ プリエール 03-5942-9025



B 6日(月) 13:00開演

京葉旭会
第6回筑前琵琶演奏会

料金 【全席自由】2,000円
問合せ 筑前琵琶京葉旭会事務所 03-3957-7432

C 9日(木)~12日(日)

BURAI
~女王陛下は武士がお好き~

作・演出 米山和仁
出演 川原正嗣ノ清水順二 ほか
料金 【全席指定】前売:5,800円ノ当日:6,000円
問合せ 株式会社4121 03-3976-4121



D 17日(金)~18日(土) 無 料

平成28年度都立総合芸術高等学校
舞台表現科成果発表会(第5回定期公演)舞台専攻
「間違いの喜劇」

作 シェイクスピア
訳 小田島雄志
料金 入場無料(事前申込)
問合せ 東京都立総合芸術高等学校舞台表現科 03-3354-5288



E 19日(日)~23日(木)

三遊亭王楽独演会

料金 【全席指定】3,600円(予定)
問合せ 夢空間 03-5785-0380



F 25日(土)~26日(日)

朗読能シアター ~土蜘蛛~

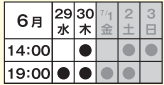
料金 【全席指定】前売:6,000円ノ当日:6,500円
問合せ 和の会 03-3816-0018



G 29日(水)~7月3日(日) BOX

ロケット第十一公演
「荒川、神キラーチェーン」

作・演出 山田佳奈
出演 小野寺ずるノ日高ボブ美(ロケット) ほか
料金 【全席指定】前売:3,900円ノ当日:4,300円
U24歳割引:3,300円ノ高校生以下:2,000円ノ初日割引:3,500円
問合せ ロケット 080-5526-7505



4・5・6

APR MAY JUN

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

Gallery 1 (5F)			
4	1日(金)～5日(火) 第26回 豊島芸術書展 問合せ 平塚 03-3946-8425	7日(木)～10日(日) Gallery 1・2 同時開催 吉田恵子 「ウェーブK」パッチワーク展 問合せ 吉田 090-3426-4289	13日(水)～17日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 水墨画・水彩画公募 〈日本の美しい自然〉 問合せ 元浜 03-3970-7566
	19日(火)～24日(日) 第7回 monochrome展 問合せ 片桐 03-5952-9333	26日(火)～30日(土) Gallery 1・2 同時開催 第40回 日藝書展 問合せ 日藝書展実行委員会 04-7129-2185	
5	2日(月)～4日(水・祝) 藤村洋子と仲間たち展 問合せ 藤村 090-6560-1745	5日(木・祝)～8日(日) 第33回 日本芸術協会 美術展 問合せ 早川 0463-32-1029	19日(木)～25日(水) 第11回 新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館 特別企画 池袋アートギャザリング 問合せ 新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館実行委員会事務局 03-3981-4732
	27日(金)～31日(火) 墨外生誕140周年記念 特別展 問合せ 墨外截金仏画・墨画の展示と保存会 080-4175-7264		
6	2日(木)～7日(火) ※6月5日(日)を除く 子どもの力図書館のためのブックフェア2016 問合せ 日本出版販売株式会社 03-3233-4817	9日(木)～12日(日) Gallery 1・2 同時開催 第34回 日本革工芸展 問合せ 糸井 080-3272-7480	16日(木)～20日(月) Gallery 1・2 同時開催 第45回 鳴鶴流天溪会書道展 問合せ 川村 090-8720-4872
	22日(水)～25日(土) 蜷川宏子キルトファクトリー 第九回展示会 問合せ 石塚 0424-76-2562	26日(日)～29日(水) 第18回 巧技ソサエティー美術展 問合せ 浅賀 03-3393-0168	
Gallery 2 (5F)			
4	7日(木)～10日(日) Gallery 1・2 同時開催 吉田恵子 「ウェーブK」パッチワーク展 問合せ 吉田 090-3426-4289	13日(水)～17日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 水墨画・水彩画公募 〈日本の美しい自然〉 問合せ 元浜 03-3970-7566	26日(火)～30日(土) Gallery 1・2 同時開催 第40回 日藝書展 問合せ 日藝書展実行委員会 04-7129-2185
	6日(金)～8日(日) 子どもの本・丸条の会 8周年の集い 問合せ 二宮 03-3417-6301	19日(木)～6月1日(水) 第11回 新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館 特別企画 池袋アートギャザリング 問合せ 新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館実行委員会事務局 03-3981-4732	
6	9日(木)～12日(日) Gallery 1・2 同時開催 第34回 日本革工芸展 問合せ 糸井 080-3272-7480	16日(木)～20日(月) Gallery 1・2 同時開催 第45回 鳴鶴流天溪会書道展 問合せ 川村 090-8720-4872	
Atelier East (B1F)			
4	3月30日(水)～4月2日(土) 雅祥と仲間達の「あうれ～あうら～」イマジリーハビネス展 問合せ NPO法人雅すこやかサポート協会 03-5917-1473	3日(日)～5日(火) 一会 ～春にあう書展～ 問合せ 長谷川 080-5172-1192	8日(金)～10日(日) 古流いけばな作品展 問合せ 栗原 03-5998-6474
	13日(水)～17日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 水墨画・水彩画公募 〈日本の美しい自然〉 問合せ 元浜 03-3970-7566	21日(木)～5月2日(月) ※4月25日(月)休館日を除く MU、短編演劇のあゆみとビジュアル展 問合せ MU制作 080-3242-3546 料金 一部有料	
5	14日(土)～19日(木) 月の会 絵画展 問合せ 中村 03-3961-6876	20日(金)～22日(日) 第16回 記念造形スタジオ・バル作品展 問合せ 長 03-3989-8608	24日(火)～29日(日) 美容界美術家クラブ絵画展 問合せ 美容界美術家クラブ事務局 早川 045-983-2540
	30日(月)～6月4日(土) 大東文化大学写真部学外展 問合せ 大東文化大学写真部 090-2666-0497		
6	6日(月)～12日(日) NAF展(油絵) 問合せ 藤島 090-8591-1861	16日(木)～20日(月) 妙福寺附属 東京陶芸倶楽部 第15回 小樽窯作陶展 問合せ 東京陶芸倶楽部 03-3978-0211	21日(火)～25日(土) 青森の銘木 工房「樹幸」の世界 問合せ 木エショップマルル 八木 090-4833-9229
	26日(日)～29日(水) Atelier East-West同時開催 アメリカンパッチワーク 佐藤尚子とキルトスプールの仲間展 問合せ 佐藤 049-222-2149		
Atelier West (B1F)			
4	3月30日(水)～4月4日(月) 第43回 伊藤嘉翔賞ファイナリスト 舞台美術展 問合せ 日本舞台美術家協会 03-6300-9104	5日(火)～10日(日) 第19回 遊彩会展(日本画) 問合せ 多々良 03-3923-5591	13日(水)～17日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 水墨画・水彩画公募 〈日本の美しい自然〉 問合せ 元浜 03-3970-7566
	18日(月)～24日(日) 共生 問合せ 平山 090-7004-2941	26日(火)～5月1日(日) Panorama in NIKKO 問合せ 佐々木 047-393-5131	
5	14日(土)～20日(金) 現代写真研究所 第42期 基礎科 修了展 問合せ 杉原 03-3355-1461	21日(土)～29日(日) 小熊秀雄・峰村リツ子と会員展 問合せ 小池 03-3971-6965	31日(火)～6月5日(日) シャドウボックス 天 第7回作品展 問合せ 田中 03-3579-5739
	6日(月)～12日(日) 青板フレンズ・2016 問合せ 米谷 090-8566-7138	16日(木)～20日(月) 第11回 光彩会展 問合せ 小川 090-1852-0552	21日(火)～25日(土) 第15回 清泉会・清光会作品展 問合せ 木村 03-5966-5329
6	26日(日)～29日(水) Atelier East-West同時開催 アメリカンパッチワーク 佐藤尚子とキルトスプールの仲間展 問合せ 佐藤 049-222-2149		

第11回 新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館 特別企画「池袋アートギャザリング」 無 料
ギャラリー1・2、ロワー広場



再び集結！ 池袋アートギャザリング

「新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館」は、かつての池袋モンパルナスの精神を現代に受け継ぎ、産学官民が連携して文化芸術資源を次世代に伝えていくことを目的としたアートフェスティバルです。池袋駅西口一帯に点在する劇場、ギャラリー、店舗等に、さまざまなアート作品が展示されます。

東京芸術劇場では、昨年好評を博した特別企画「池袋アートギャザリング」が、「PLAY」をテーマに再び展開されます。ギャラリー1には今年一般公募で選抜されたアーティストと昨年参加のアーティスト作品が、ギャラリー2とロワー広場には、今話題のこけしをテーマとした作品群が展示されます。アトリウムで来場者を出迎える巨大バルーンこけし「花子」に、ぜひ会いにいらしてください。

会期 5月19日(木)～25日(水) ギャラリー1
5月19日(木)～6月1日(水) ギャラリー2、ロワー広場

お問合せ 新池袋モンパルナス
西口まちかど回遊美術館実行委員会事務局 03-3981-4732

【URL】<http://www.kaiyu-art.net/>

主催：新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館実行委員会
共催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

「集まれ！ 池袋みんなの大道芸」 無 料
5月3日(火・祝)～5日(木・祝)・7日(土)～8日(日) 劇場前広場



一流のストリートパフォーマンスを劇場前広場で

今年もGWを皮切りに大道芸がスタート！圧巻のアクロバットパフォーマンス、コミカルなパントマイム、妖艶なマジック、自由に駆け回る長足のウォーキングアクト等、滅多に見られない海外からのスペシャルゲストも出演予定です。ぜひこの機会をお見逃しなく。また、ボールやディアボロなどの技を体験できる「チャレンジ広場」も同時開催！さらに、6～7月の火、木曜の昼は、レベルアップを目指すストリートパフォーマーの姿が劇場前広場で見られるかも！

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

「池袋学」
5月～10月 立教大学、東京芸術劇場 詳細はHPへ

みんなが参加できる「池袋学2016」開講！

池袋に住む人、暮らす人、池袋で働く人、学ぶ人、池袋を訪れる人、みんなが参加できる池袋学を今年も5月より開講致します。このまちの由来や歴史、文化、暮らし、街並みなど、色々な視点で池袋を語ります。そしてこれからの池袋について考えます。全講座制覇もよし、興味のある講座だけに参加するもよし、それぞれの楽しみ方を見発見してください！

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）／立教大学

ONE'S
voice

野田秀樹 × アイタイヒト

森山未来

野田秀樹

岩井秀人

予測不能な子供のひらめきを原作に、
ハイバイ岩井と森山未来が舞台づくりに挑む！

子供が考えたお話を、創作の最前線にいるプロの劇作家や演出家や俳優が、力を合わせてひとつの作品にし、それを幅広い層の観客が楽しむ——。2009年の芸術監督就任時、野田秀樹が目標のひとつに掲げた

“変化球”の児童演劇づくりに、何とも贅沢なふたりが名乗りを上げた。人気劇団ハイバイの作・演出家・俳優の岩井秀人と、彼の誘いに応じた俳優でダンサーの森山未来。

2017年2月の上演に向けて、大の大人が子供に振り回されるプロジェクトがスタートを切った。

「そのアイデア、もらっていいですか？」

岩井 野田さんの「子供が書いた脚本を、大人が演劇にする」というアイデアを聞いた時から、絶対におもしろそうだったんですよ。でも当然、それは（言い出した）野田さんがやるんだらうから、早く観たいなと思っていただけ、何年経ってもなかなか話が聞こえてこない。お会いした時に「いつやるんですか？」と聞いたら、「忙しくてできないんだよ」と。だったらやらせてもらいたいと思って、すぐその場で「そのアイデア、もらっていいですか？」と言って許可をもらえたんですよ。

森山 3年ぐらい前だったかな、KAAT（神奈川芸術劇場）に岩井さんの舞台を観に行き、そのあと初めて食事をしたら、次の日に「子供の芝居をつくりたいんだけど、興味はないですか？」とメッセージをもらったんです。白状すると、話した時は酔っぱらっていて、どんな会話をしたのかあまり詳しく憶えていなかった（笑）。でも何となく、（1年間留学していた）イスラエルのチルドレンショーのイメージが頭に残っていて、ということは話したんだらうし、確かににおもしろそうだと感じて「やりましょう」と。最初は野田さんからのアイデアだったんですね。野田さんがそういうものをつくりたいと思ったのは、何かきっかけがあったのですか？

野田 以前、ロンドンで友達がそういう芝居に出ていたんだよ。子供が書いた話を成立させるために、何人もの大人の役者が奮闘するという趣向で、すごくおもしろかったんだよね。言ってみれば子供のひらめきに、プロの役者が寄ってたかって悪戦苦闘しているわけ（笑）。それを子供限定ではなく、普通に幅広いお客さんに見せていて、役者達も必死でね。「こういう芝居は日本にはないな、あればいいのにな」と思ったことがずっと頭に残っていて。でももちろん、簡単につくれるものではないとわかっていたから、そう気軽に手を出すことができなかった。

岩井 それで長いこと、そのままになっていたんですね。

野田 子供から出てきたアイデアは、いじめるのが難しいでしょ？ どんなにおもしろくてもそのままでは（演劇作品として）外に出せないし、下手に大人が手を入れればすぐにつまらなくなる。そこのさじ加減をどうするかが命綱で、ものすごくセンスを問われるよね。

森山 野田さんがロンドンでご覧になった作品は、演出は誰が？

野田 演出家は置かず、役者が相談しながらつくっていたね。短い話4本か5本のオムニバスだった。何人ぐらいの子供の話をつなげたかはわからないけど。

岩井 やっぱ短いものを何本かつくる形になるのかな。1時間半の1本の物語をつくるのは難しいでしょうね。無理にまとめようとしたらいくらでもまとめられるけど、大人の考えを持ち込んだら、せっかくおもしろかった部分が削られてしまう。子供から出てきたものにはなるべく手を加えないようにしようと思っています。台本の段階で削ってしまうことはできるだけしたくない。

小学生とのワークショップでわかったこと

野田 準備のためにワークショップをしたと聞いたけど。対象は？

岩井 基本的に小学生ですね。未来くんも途中から顔を出してくれました。

野田 どうだった？

森山 楽しかったですよ。岩井さんが上手いんです、子供から話を聞き出すのが。

岩井 特に頑張らなくても、子供と（精神的に）横並びになれるので、向こうもきっと話がしやすいですよ。教えるというよりは、みんなに「（アイデアを）ちょうだい、ちょうだい」という感じでやっているの。だからまあ、一緒に遊



んでいるんですね。

森山 いや、あれはなかなかできません。

野田 どんなふうに進めているの？

岩井 たとえば、ある子とうまく話が通じないと、ちょっと強引に困って見せて「え、なに？ なんて言ったら通じるの？」と言葉にしちゃうんです。この間は頭の良い子がひとりいて、僕らの会話を聞いて「ああ」ってわかった顔をしていたから、「え、わかったんだったらみんなに教えてよ」ってなことを言いながらやりました。でも子供が考えるお話って、すぐに誰かに死にませんか？ 男の子も女の子もみんなそう。「誰々が何々してたらね、死んじゃうの。あーっ！」という感じでびっくりなしに、もう次から次へと死ぬ死ぬ（笑）。

野田 あはは！ でももしかしたら、登場人物がすぐに死ぬのは日本人の特徴かも？

岩井 ああ、アニメの影響とか？

森山 地域もあるんじゃないですか、都会ほどそういう傾向が強いとか。それと子供って、最初に誰かが「死んだ」と言ってみんなが笑ったら、次の子も「死ぬ」と言ってウケたがる（笑）。

野田 大人の役者が脱ぎたがるのと一緒だな（笑）。ほら、いるでしょ？ 稽古場で困ると、演出家が頼みもしないのにTシャツを脱ぎ出す人が。

森山 え、エチュードをやっている時とかにですか？

野田 うん。何も浮かばなくなって困ると。結構いるよ。

岩井 僕のところではないですけど？

野田 世代によるのかな……。

森山 さっきの「次々死ぬ」という話、僕は後ろで観ていておもしろかったんですよ。岩井さんが子供から出てきた話をホワイトボードにどんどん書いていって「こういう人がいるんだね、そしたら次にこの人はどうなる？」と質問する。すると死んじゃうんですけど「うん、死ぬのはわかった。じゃあ、もし死なないならどうなる？」と、もうひとつ流れをつくろうとする。で、ゆくゆくはやっぱり死んじゃうんですけど（笑）。そうやって分かれていく枝をなんとかして繋ぐうとしては、やっぱり分かれていく。その絵がすごく印象的でした。あれは、死ぬということがどういうことかを何となく示していたように感じました。

岩井 あれだけ子供から（登場人物が死ぬという話）が出るということは、それを拾わないのはこの企画的にも嘘になるしね。

野田 ワークショップはもう何回かやったの？

岩井 まだ1回だけです。最初のを、たまたまスケジュールが空いていて未来くんにも見てもらえたんですけど、今後の（共同作業の）ためにはすごくよかった。

森山 僕も行っちゃったです。さっきの枝分かれの絵もそうですけど、子供の話に差し挟む岩井さんのひとこととか、ピックアップの仕方がいいんですよね。どういう流れでそういう話題になったかは忘れましたけど、岩井さんが「じゃあ僕は小学何十年生ってことだね」と返して、他愛ないひとことなんですけど、そういう返しをバツとできることが、結局は岩井さんの作



家性を表しているし、そうやってハイバイの作品はできているんだなと思ったりました。

子供の発想の飛躍とご都合主義の効能

野田 ……俺は小学何十何年生なんだろう？ それはともかく(笑)、子供の考えることには飛躍と破綻もあるけど、ご都合主義もあるよね。さんざん「死んだ」と言っていたのに、いきなり「実は生きていましたー!」とか。それがおもしろいというか、やっぱりそういうところで苦しみたいよね、大人は。

岩井 苦しみたい……のかな。まったく伏線がなかったのにこんな展開になりました、というのをどうするかが今回の肝のひとつではあるので、確かにそうかもしれませんが。ただ僕は、苦しいのは自分の劇団でつくっている時も充分に苦しくて、新作をつくるのは、劇団だろうが外の仕事だろうがすごく苦手なんです。この子供企画をやりたいという動機は、劇団の作品だとどうしても自分の身のまわりの話が多くなって、そういうことばっかり書いていくのはどこか偏っていて不健康なことだと思っていて。

森山 さんざん自分の体験を芝居にしている、何をいませら(笑)。

野田 岩井くんがそこをやらなかつたら何をやるの?(笑)

岩井 そうなんですよ(笑)。これだけやっておいて何を言っているんだって話ですし、これからは他人を取材して書いていく機会をもっと増やしていくつもりですし、現実には起きている出来事にはずば抜けておもしろいことも確かにあって魅力的なんですけど、それに頼り過ぎていたらマズいという感覚は、僕の中にあるんですね。だから、もっと(自分の想定できる世界から)大きく外れたいという感覚がどこかにあって、それを1番強烈に発揮するのは誰だろうと考えたら、子供なんですよ。『子供が書いた話を芝居にする』と決めたら、それがどんなに理不尽でも諦めがつくじゃないですか(笑)。この企画を始めたのには、そういう理由もありますね。不純でごめんなさいね。

森山 いや、不純じゃないし、わかりますよ。

岩井 これまでいろんな地域の劇場で、地元の人を対象にワークショップをやってきて、参加してくれた人全員に自分の人生のどこかを芝居にしてもらう『フレフレのモロモロ』というシリーズをつくっているんですね。自分には遠いところに存在する人の人生を、演劇として見られるものにするということが、すごくおもしろい。本人にとっても「自分は苦しんできたけど、笑ってもらえて楽になった」という手応えもあるみたいで。そのワークショップの反響が今回の企画と繋がっている気がしています。

野田 ワークショップの1回目から手応えがあったならすごいじゃない。

岩井 丸くなって座って、ひとり1つセンテンスを言って、それで強引に話をつくっていくのも意外とスムーズにできましたね。紙を渡して「書ける人だけでいいから、何かお話を書いて」と言ったら、びっしり書いて提出する子もいましたし。

野田 ワークショップは幼稚園児はダメなの？ 4歳ぐらいに短い文章を書

HIDEKI NODA×MIRAI MORIYAMA×HIDETO IWAI

かせたら、意外と使えるということはない？

岩井 混ぜ込むのはいいですね。1回目のワークショップの形が固定ではなくて、それを元にいろんな場所でいろんな内容のワークショップをしようと思っています。……いろんな場所と言っても、基本、豊島区ですけど、たくさんの子供に参加してほしいと思います。

野田 何新聞だったかな、昔、詩人の川崎洋さんが、購読者から送られてきた小さな子供の言葉を選んで載せるコーナーがあって、やっぱり大人とはまったく違う視線で物事を観ているから、出てくる言葉が新鮮なんだよね。確かそれをまとめた本も出版されたと思う。もしワークショップだけでは(素材が)足りない時は、もっと小さい子供の飛躍した言葉を使うと刺激になると思うよ。

岩井 そういう外し方はおもしろいかもしれませんね。あと、僕はプレイヤーとして未来くんがすごく好きなので、未来くんが出演してくれるのは今回の大きいモチベーションになっていますね。

野田 ビジュアルがここ(森山)に託されるわけでしょ、ポジティブなビジュアルはこっち担当(笑)。

岩井 そうそう！ ネガティブは僕が受け持ちますから(笑)。

こういう企画だからこそ、腕の立つ人を

森山 僕が岩井さんに声をかけられて一緒にやりたいと思ったのは、イスラエルかぶれみたいな発言になってしまいますけど(笑)、街を歩いていても、レストランでも、公共の場所においても、子供や老人に接する時の人間の親密度が日本とまったく違って、すごく温かいんですよ。インバル(森山がダンスを学んだカンパニーの主宰者で世界的振付家のインバル・ピント)のクリエイションの場も、メンバーの子供がそこらへんを走り回っていても大丈夫だったりする。

野田 海外はそのあたりがオープンだよ。

森山 もちろんイスラエルでも現場によるし、どこでも常に子供オケーというわけではないんですけど、経験してみても、それぐらいのメンタリティで過ごすことが、自分がオープンでいられることの要素のひとつだなと思ったんです。ここは東京だから、特にそこが希薄なのかもしれませんが、子供と大人の距離があまりに離れているのが僕はすごくいやで、自分が家族と暮らす場所としても、もう少し変わってくれたらいいと思っているんです。すごく遠い取っ掛かりかもしれませんが、こういう企画をやることは、それにつながる可能性はあるなと感じています。

野田 そうして行きたいね。

森山 だから、できるだけ小さな子も観られる公演になったらうれしいと個人的には思っています。いい芸術に触れるのに年齢は関係ないけど、やっぱり

早い時期にできたらそのほうがいいと思うので。

岩井 未来くんは忘れてましたけど(笑)、最初に食事をした時に、そういう話をしてくれたんですよ。それを聞いて僕は「本当にそうだな」と思って。普段は「自分の劇団にたくさんお客さんが入ればいい」ぐらいしか考えないし、もしそういうことが実現するとしても日本では何十年かかるかわからない、だったら考えないようにしようとかフタをしていたところがあるんです。今回、野田さんにやっていいよと言ってもらって、じゃあどこから手をつけようかと考えていた時に、たまたま未来君と話ができて「あ、この人だ!」と思ったんですよ。どういう作品にする、どういう役をやるという具体的などころ以外の、言葉が堅いですけど、志というか、そういうものを持っている人だったので。この企画はきっと、そういう人とやるのがいいだろうという感覚がすごくありました。教育的なことはまったく考えていませんけど(笑)。

森山 僕も考えていません(笑)。

野田 とりあえず教育的なことは考えなくていいよ。でも「子供から大人まで観られる」と言った時に、子供というのは何歳からにするかは考えないんだけど。

森山 それと、大人も子供も観られるもの、ということを考えると、大人向けの作品以上に視覚的なものと聴覚的なものが大事になりますよね。そういうところで飽きさせないように工夫しないとか。

岩井 うちの娘は小学3年生になるけど、舞台を観ていて1時間40分超えたあたりから「うう〜ん!」みたいな。

森山 1時間40分過ぎだったら僕もなりますよ。

野田 俺だってなるよ!

岩井 それと、なぜかはわからないんですけど、劇作家候補みたいな子がここから出てくるイメージがあるんです。

野田 ずいぶん気が早いね。

岩井 でも、自分のアイデアが舞台になって、大人達によって上演されるって、自分のつくった曲がプロのミュージシャンの演奏で配信されるのとほとんど同じ意味ですから。子供の時にそんな経験をするってとんでもないことで、大きな経験になると思う。だから、自由度の高いワークショップはやりつつ、その一方でもうちょっとしっかり書くコースができればいいなと思っています。

野田 あ、今、思い出した! こういうやり方があるんだよ。例えば「朝起きた時にどんな感じがしますか?」「芝生の上を歩くのはどんな感じですか?」「今1番いたいものは?」というふうにバラバラの質問をして、答えを集めてつなげると、すごくイメージの豊かな詩になっていくんだよ。つまり、道理というのは、受け取る側が勝手に見つけてくれるというか、その間にある飛躍を埋めてくれるんだよね。

岩井 それは楽だなー。そこで集まったものを未来くんに渡せばいいんだ、



「これに動きをつけて」って(笑)。

森山 おっと(笑)。

岩井 さっき話したように、オムニバスっぽい話になる場合も手を加えたくはないですけど、詩みたいなものにするとしたら、それはもう100%、子供から出てきた言葉をそのまま使いますね。一言一句変えちゃ駄目で、美術やら照明やらは、こっちがなんとかするので。こっちというのは、未来くんですけど。

森山 (笑)

岩井 僕は本当に色彩感覚とか構図とか、苦手ですから。

野田 それ、2つ並べればいいんじゃない? 色彩感覚ダメな国と、得意な国とかっていう分け方。

森山 おもしろいですね。ファンタジーになる。

野田 僕もロンドンかぶれで言うけど、クリスマスシーズンになると、ロンドンのウエストエンドのあちこちの劇場で「子供のための〜」という芝居がパーッとかかるわけ。パレエの『くるみ割り人形』なんかもそうだけど、それを小さな頃から観るのが当たり前というか、年中行事として根付いている。あいうことを1年に1回経験しているのといないのでは、その後の演劇に対する感覚が全然違うよね。それにはやっぱりちゃんと腕のある人が、子供の前で芝居をしないといけないんだけど。そこはとても大切で、その意味ではこのふたりがやってくれるのはありがたいし、頼もしい。観客として——言い出しっぱだけど関わらないので(笑)——楽しみで、早く観たいですよ。

モデレーター・文:徳永京子
写真:平岩 享

今回のアイタイヒト

森山未来 MIRAI MORIYAMA

もりやま・みらい 数々の舞台・映画・ドラマに出演する一方、近年ではダンス作品にも積極的に参加。文化庁文化交流使として13年秋より1年間イスラエルに滞在、インバル・ピント&アヴシャロム・ボラック ダンスカンパニーを拠点に活動。待機作として、8月に直島・ベネッセハウスミュージアムにて岡田利規×森山未来「In a Silent Way」(「瀬戸内国際芸術祭 2016」に参加)、李相日監督作品、映画「怒り」(東宝系にて今秋公開)など。第10回日本ダンスフォーラム賞 2015受賞。

岩井秀人 HIDETO IWAI

いわい・ひでと 劇作家・演出家・俳優。2003年ハイバイを結成。2007年より青年団演出部に所属。東京であり東京でない小金井の持つ「大衆の流行やムーブメントを惟れつつ引いて眺める目線」を武器に、家族、引きこもり、集団と個人、個人の自意識の渦、等々についての描写を続けている。作品は韓国、イギリスで翻訳上演され、国内外から注目を集めている。2012年NHKBSプレミアムドラマ「生むと生まれるそれからのこと」で第30回向田邦子賞、2013年「ある女」で第57回岸田國士戯曲賞を受賞。

野田秀樹 HIDEKI NODA

のだ・ひでき 1955年、長崎県生まれ。劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授。東京大学在学中に「劇団 夢の遊眠社」を結成。92年劇団解散後、ロンドンへ留学。帰国後の93年に演劇企画製作会社「NODA・MAP」を設立。以来『キル』『赤鬼』『パンドラの鐘』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『MIWA』などの話題作を発表。歌舞伎「野田版 研辰の討たれ」などで、故村勘三郎史と組み、好評を博した。国内のみならず海外でも精力的な創作活動を展開。15年11月、モーツァルト歌劇「フィガロの結婚」〜庭師は見た!〜」を演出、全国10カ所で行った。16年1月〜4月NODA・MAP最新作「逆鱗」を上演。

「コドモ発射プロジェクト」未来の大人と演劇ははじめました(仮称)

演出:岩井秀人 出演:森山未来 ほか

子供たちのアイディア収集やワークショップなどを経て、2017年2〜3月にシアターウエストで上演予定。詳細は後日発表。



東京芸術劇場の取り組み

すべての方が同時代の芸術を 享受できる劇場を目指して

APPROACH-1 鑑賞サポート

東京芸術劇場は、すべての方に開かれた公共劇場としての在り方を模索し、2009年7月の野田秀樹芸術監督就任記念プログラム『ザ・ダイバー』を最初に、視覚障害や聴覚障害をお持ちの方を対象とした舞台公演の鑑賞サポートの取り組みを開始しました。以来試行錯誤を重ね、現在では演劇公演における「視覚障害者のための舞台説明会」「聴覚障害者のためのポータブル字幕機提供サービス」と、音楽公演における「視覚障害者のための公演説明会」を、主催・共催事業の一部で実施しています。

「舞台説明会」や「公演説明会」では、公演当日の開演前に目の不自由なお客様に劇場へお集まりいただき、鑑賞時によりイメージ豊かに作品を楽しんでいただけるよう、演劇公演においては舞台美術や登場人物、物語などについて、音楽公演においては曲目や楽器、出演者などについて説明しています。「ポータブル字幕機提供サービス」では、耳の不自由なお客様が演劇公演観劇中に、台詞や音の情報を手元で確認できるよう字幕機を無料でお貸ししています。

最近では、これらの鑑賞サポートを利用されたお客様同士が、スタッフを交えて、公演の感想や意見を交わす場所作りも試行し始めました。2015年8月の『気づかいルーシー』終演後の意見交換会では、松尾スズキ原作による



視覚障害者のための公演説明会「ランチタイム・パイプオルガンコンサート Vol.115」

シュールな作品を「見えないお客様」と「聞こえないお客様」がそれぞれのよう

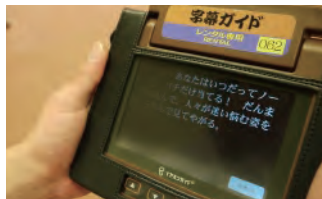
に鑑賞されたか率直な意見が交わされ、スタッフも新たな気づきを得られました。障害をお持ちの方が、その障害をハードルと思われることなく同時代の芸術に親しんでいただけるよう、当劇場はこれからも鑑賞サポートの充実に取り組んでまいります。鑑賞サポート対象公演の情報は、公演チラシや東京芸術劇場HPなどで随時お知らせしています。

東京芸術劇場HP／<http://www.geigeki.jp/fukushi/index.html>



視覚障害者のための舞台説明会

「気づかいルーシー」公演では、実際に舞台にあがっていただき、フラットな舞台上の積み木が、シーンによって積み替えられ、場面転換していく様子を説明しました。



聴覚障害者のためのポータブル字幕

演出や周囲の方の鑑賞の妨げにならないよう、画面が光らないように工夫された最新のシステムを使用しています。

APPROACH-2 舞台技術セミナー

舞台技術を学び合う！テーマは、立体に音響のイメージを構築する「空間音響演出」



東京芸術劇場では、将来の公共劇場を担う人材の育成を目的として、2013年度より「アーツアカデミー東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修」を実施し、その一環で舞台技術セミナーを開催しています。本セミナーは舞台芸術に携わる方に限らず、学生や舞台技術に関心がある方など幅広くご参加いただけます。

今回は劇場における空間音響演出をテーマに、電気のない時代から現在の最新機材に至るまでを紹介し、実際の機材を使用した実演も交えて、これからの劇場音響演出の展望や劇場の音響システムに求められるものとは何かを考えていきます。



東京芸術劇場 舞台技術セミナーvol.6

「空間を聴く・空間をイメージする」

5月24日(火) プレイハウス

【参加費】1,000円(先着順・要事前申込み) 詳細は劇場HPへ

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

主催：アーツカウンシル東京／東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



Daiwa House®

大和ハウスグループ

共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループは、

グループシンボル「エンドレスハート」に

お客様と私たちの永遠の絆と

私たちグループの連帯感を託しました。

人・街・暮らしの価値共創グループとして、

私たちは社会に新しい価値を築いてまいります。

大和ハウス工業株式会社

www.daiwahouse.com

I N F O R M A T I O N

鑑賞サポート

目や耳の不自由な方を対象に、舞台・公演説明会、字幕機提供サービス(無料・要事前申込)等を実施しています。詳細は事業ごとに異なります。

【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

4～6月
対象公演

「ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.14」(4月21日／お付添を除く先着10名様まで)